中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育



平成30年9月版

(令和2年4月最新改訂)

はじめに

中村学園大学付属壱岐幼稚園の新しい教育課程ができあがりました。平成29年3月31日に「幼稚園教育要領」が告示され、平成30年4月1日から施行されることに伴う、改定です。

今回の幼稚園教育要領の改定には、いくつかのポイントがあります。その中でも、小学校教育との円滑な接続を目指して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示されたことは特徴的です。それらは、「健康な心と体」、「自立心」、「協同性」、「道徳性・規範意識の芽生え」、「社会生活との関わり」、「思考力の芽生え」、「自然との関わり・生命尊重」、「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」、「言葉による伝え合い」、「豊かな感性と表現」という資質・能力です。

壱岐幼稚園の新しい教育課程の作成にあたっては、従来の5領域における「内容」と、これら10の資質・能力を踏まえた、「学びの地図」となるように意識しました。今行っている保育が、幼稚園教育要領における5領域のどこに位置付くのか、あるいは、10の資質・能力のどれに関わることなのかを、できるだけ分かるようにしています。

また、年少から年長までの3年間に加えて、2歳児クラス「こあらぐみ」を含めた、4年間の教育課程を作成しました。さらに年少からの3年間については、5領域や運動、製作の観点ごとに、各期に取り組む標準的な内容を示しました。例えば5領域の「健康」では、給食の箸、配膳(当番活動)、歯磨き、食育という項目を設定し、計画を立てました。これらの計画は必要に応じて見直しを行い、今の子ども達、今の環境、今の時代にふさわしいものにしていこうと考えております。

本園は、中村学園大学の付属幼稚園として、幼稚園教育要領に則り、幼児の発達の特性に応じ、遊びを通した総合的な指導を行うという、 幼稚園本来の姿を追求して参ります。また、大学教育学部の実習生などの受け入れを通して、将来の保育者養成にも寄与できるよう、努めて おります。これからも、壱岐幼稚園の教育と保育に対しまして、皆様のご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 9 月

中村学園大学付属壱岐幼稚園 園長 圓入智仁

り

・壱岐幼稚園の目指す子ども ・・・・・・・・・ 1
• 壱岐幼稚園の概要・・・・・・・・ 3 園のあゆみ 園の概要
•教育課程·····10
•年間計画······11 未就園児(2歳児) 年少(3歳児) 年中(4歳児) 年長(5歳児)
* 月案······ 15 未就園児(2歳児) 年少(3歳児) 年中(4歳児) 年長(5歳児)
・資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

本書について

・使用している漢字や表現は、幼稚園教育要領を参考にしています。 教師は、「保育者」と表記しています。

[年間計画]

- ・給食目標の()内の数字は、幼稚園教育要領の健康の内容と照らし合わせて、 該当するものを記載しています。
- ・「ミックスジュース(縦割り保育)」は、本園で行っている縦割り保育の呼び名です。

[月案]

- •()内の数字は、幼稚園教育要領の各領域の内容と照らし合わせて、 該当するものを記載しています。
- ・セカンドステップの漢字表記は、セカンドステップテキストを参考に 記載しています。
- ・言葉 【え】・・・絵本 【か】・・・紙芝居 【大え】・・・大型絵本 【パ】・・・パネルシアター
- ・表現 ☆・・・全学年共通で必ずする製作

壱岐幼稚園の目指す子ども

いきっこは…

「生きる力」がいっぱい

壱岐幼稚園は…

みんながいつでも来られる 帰って来られる 思い出いっぱい 安心いっぱいの

家のような存在でありたい

強い子

11/1

- ・自己肯定感をもつ子ども
- 挑戦できる子ども
- ・ 場面に応じて感情をコントロールできる子ども

体

・健康に過ごせる丈夫な身体をもつ子ども

やさしい子

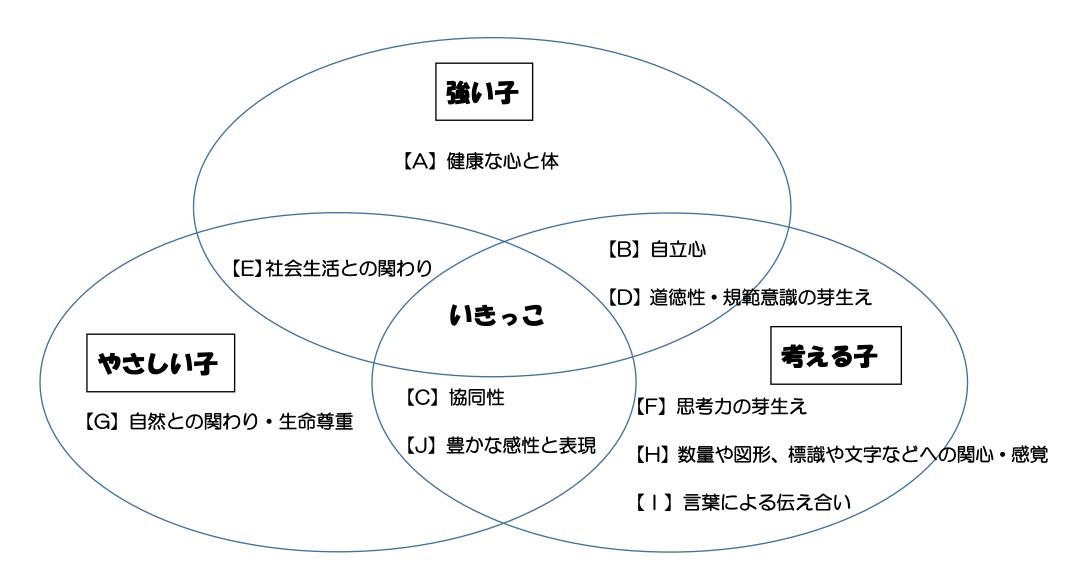
- すべての人やものに思いやりをもって 丁寧に接する子ども
- (友達・家族・年下の子ども・保育者・ 地域の方・動物・植物・自然など)
- ・相手の気持ちを考えられる子ども

いきっこ

考える子

- 自分なりの考えをもてる子ども
- 考えを表現できる子ども
- ・自分で目標を設定できる子ども
- 目標に向かって行動に移せる子ども

壱岐幼稚園の目指す子ども



壱岐幼稚園のあゆみ

◇1979年	4月11日 4月14日 4月19日	壱岐幼稚園開園 初代園長:高良 竹美就任 第1回入園式挙行・入園児48名 第1回母の会総会 完全給食開始 開園式・園舎落成式	◇1999年	4月13日 7月 10月 11月20日	スクールバス2台での送迎開始 預かり保育開始 幼稚園シンボルマーク制定 『教育課程』及び『指導計画』作成 20周年記念式
		園歌「よいこのうた」制定	◇2001年	4月1日	第4代園長:古賀 範雄就任
◇1980年		4・5歳児各2学級 プール初使用	◇2002年		延長保育試行 週5日制実施に伴い、 第1・3・5土曜日自由登園試行
◇1981年	3月14日	第1回卒園式挙行		11月	おすもうさんとの交流会開始
◇1983年	7月	『総合保育実践の記録』発刊	◇2004年	2月	教育課程見直し 『壱岐幼稚園の保育』改訂版作成
◇1984年	3月3日	5周年記念式・記念植樹			土曜日預かり保育開始 夏休み期間中の預かり保育開始
◇1986年	10月1日	スクールバス送迎開始	◇2005年		第5代園長:松尾 智則就任
◇1987年	4月1日	第2代園長:千葉 胤昭就任			
◇1989年	4月1日	3歳児保育開始 4·5歳児各2学級、3歳児1学級	◇2009年		第6代園長:久富 さよ子就任 30周年記念式
		增設保育室落成式 10周年記念式·記念花壇設置	◇2011年	4月	『壱岐幼稚園における保育』発刊
◇1992年	2 日	『行事実施要項集』作成	◇2013年	4月1日	第7代園長:宮坂 明就任
V1992∓		3歳児2学級	◇2014年	4月	未就園児親子クラスこあらぐみ開講
◇1994年	2月2日	『年間保育計画』製本	◇2015年	8月	5歳児お泊まり保育開始
◇1996年	5月	付属あさひ幼稚園との交流保育開始	◇2016年		2歳児こあらぐみ・預かり保育室増設 2歳児こあらぐみ開始
◇1997年	4月1日	第3代園長:田中 浩子就任	◇2017年		第8代園長:圓入 智仁就任
◇1998年		預かり保育試行			
	11月	入園予定者の体験保育開始	◇2018年	9月	教育課程見直し 『壱岐幼稚園の保育』改訂版作成
			◇2019年	12月19日	40周年記念式

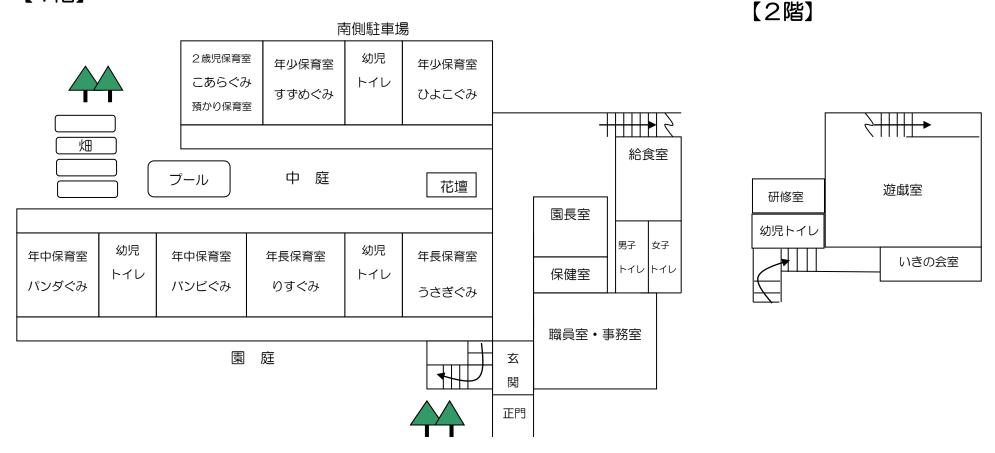
壱岐幼稚園の概要

(1) 園の環境

飯盛山を南にのぞむ住宅地に位置し、近くには保育園や小学校などがある。近年開発が進み、交通量も多くなった。少子化が進む中、本園の属する小学校区も例外ではなく、園児の8割ほどはスクールバスを利用して早良区西部や、西区の広範囲から通園している。園庭には、子どもの大好きなトンネル山や桜・あんずの木などがあり、子ども達は斜面を利用して遊んだり、植物の成長に気付いたりしている。また、中庭には、畑や思い切り水遊びを楽しめるプールがある。

(2) 園舎平面図

【1階】



(3) クラス編成

年 齢	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2歳児
学級数	2	2	2	3コース
クラス名	うさぎ・りす	パンダ・バンビ	ひよこ・すずめ	こあら

(4) 教職員組織

園長	主任	担任	保育補助	預かり保育	管理栄養士	給食補助	事務	技術	計
1	1	7	9	1	1	5	1	2	2 8

(5) 保育方針

- 〇四季折々の自然を感じながらのびのびと遊べる環境の中で、様々な活動を展開し、強い子・やさしい子・考える子を育む。
- 〇子ども達が生まれながらにして備えている資質(自らの学び)を重視し、また、一人一人を大切にして、発達の主体者である子どもの活動を 援助する。

<保育の重点>

- [1] 幼児が期待をもつ保育計画と実践
 - 〇保育方針の具体的計画と実践
 - 〇保育者間の協同体制
- 〔2〕幼児に働きかける環境の整備
 - ○四季の特色を体感させる園庭
- ・樹木の開花、結実、紅葉、落葉
- ・四季の草花を考えた花壇
- ・収穫を期待できる畑
- 〇小動物の飼育を通した生命の尊重 (ウサギ、カメなど)
- 〇十分な運動遊びの機会を与え、創造力を高める施設
 - ・固定遊具(トンネル山、砂場、プールなど)他

〔3〕幼児の目標

○游ぶ

- 夢中になって色々な遊びに取り組む。
- 遊び場を見つけて色々な所で遊ぶ。
- 遊びを見つけて遊ぶ。
- ・友達と仲良く遊ぶ。
- 約束を守って遊ぶ。
- 色々な遊びで全身を動かす。
- 物を大切にして遊ぶ。
- 安全に気をつけて游ぶ。
- 季節を感じながら遊ぶ。

〔4〕保育者の目標

- ○見守る・育とうとしている子ども達を温かく見守る。
 - 子ども達のやってみようとする活動を見守る。
 - ・子ども達の活動にふさわしい環境を整えて見守る。
 - 安心してその子らしさが発揮できるように見守る。

○育む

- ・この時期に身につく基本的生活習慣(特に排泄、食事、整理整頓、挨拶)を大切に育む。
- 「きれいだな」と感じる心を育む。
- 「不思議だな」と思う心を育む。
- ・「強い心」、「やさしい心」、「我慢する心」を育む。
- ・保育者や友だちの話をしっかり聞き、自分の思い(心、気持ち)を正しく伝える姿勢を育む。
- ・集団の中で直接的・具体的な体験を通して育む。
- ・子ども達と保育者との温かな信頼関係を育む。

[5] 保育充実を助成する活動

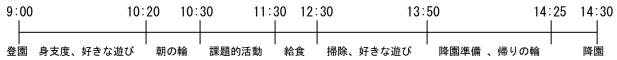
〇儀式的行事 ———— 入園式、卒園式、始業式、終業式

〇特別保育活動 — 誕生会、お弁当の日 (園外保育・交流保育)、運動能力測定、保護者参観日、クラス懇談 (親子でクッキング) プール開き・納会、よいまつり、お泊まり保育(年長)、運動会、すもう大会(年長)、いきっここども劇場、 もちつき、お正月遊びの日、まめまき、いきっこマラソン、お別れパーティーなど

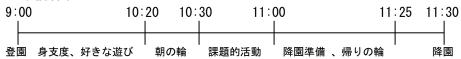
〇指導を受ける活動 —— 避難訓練(西消防署)、交通安全教室(西警察署)

(6) 保育時制 (だいたいの目安です。)

<通常保育>



<午前保育>



(7) 給食について

おいしくバランスのとれた給食を目指し、週5日完全給食を実施している。管理栄養士が子ども達の健康と成長・季節などを考慮して調理したり、 食品アレルギーがある子どもへの対応をしたりしている。園内の給食室で調理しているので、できたてで衛生的である。また、食材は国内産に限り、 特に九州産にこだわっている。

園児は、発達段階に応じた給食当番の活動を行っている。年少児は、トレーなどを配ることから始め、年長児はつぎわけにも挑戦している。

教育課程

齡	未就園児・2歳児	年少-3歳児	年中-4歳児	年長•5歳児							
の重点	・好きな遊びを目つけて のびのびと遊		・いろいろな活動に取り組み、自分なり の力を出して充実感を味わう。	・友達との連帯感を深めながら、自分自身の課題に主体的に取り組む。							
健康	・自分で朝や帰りの身支度ができるようになる。【B】・パンツで過ごせるようになる。【A】・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】	 ・制服の1番上のボタンも自分で留められるようになり、自分で身支度をする。 【B】 ・箸を使って自分で食べられるようになる。 【B】 ・車に気を付けて、道の端を意識して歩けるようになる。 	味わう。【A】	・年長としての自覚をもって、基本的な生活習慣を見直す。【B】 ・いろいろな運動遊びに力いっぱい取り組んだり、自分なりの目的をもって挑戦しようとしたりする。【A】							
人間関係	・保育者や友達に親しみをもつ。【C】 ・友達と一緒に並行遊びを楽しむようになる。【C】	・自分のクラスの保育者や友達に安心 感を抱き、一緒に遊ぶ。【C】 ・我慢できない気持ちが分かる。【D】	ちに気付いていく。【C】 ・必要な手伝いに気付き、行おうとする。【D】 ・遊びの中で、友達などの様々な考え	・友達と共通の目的に向かって考えを 出し合い、力を合わせて遊びに取り組 む。【F】 ・周りの人に思いやりをもって関わり、							
環境	・季節ごとの遊びを全身で楽しむ。【G】・裸足で過ごせるようになる。【A】・進んで片付けを行う。【D】・砂遊びを、自分で工夫して遊ぶ。【F】	・日本の伝統的な行事や遊びを知り、 楽しむ。【E】 ・固定遊具などに触れて、のびのびと遊ぶ。【A】 ・砂と泥の違いに気付き、工夫して泥団 子が作れるようになる。【F】【G】	・季節の虫や植物に興味をもち、季節の変化に気付く。【G】 ・公園などの公共施設を訪れ、ルールを守って大切に使おうとする。【E】	・身近な自然の変化に関心をもつ。【G】 ・遊びや日常生活の中で、必要な数量、図形や文字、簡単な標識などに関心をもつ。【H】 ・災害時の避難所を知り、地域の中で暮らしていることに気付く。【E】							
言葉	・名前を呼ばれたら返事ができるようになる。【E】・自分の名前が言えるようになる。【E】・「おはよう」「ありがとう」など簡単な挨拶ができるようになる。【I】	[1]	聞いたりしながら遊びを進めていく。【I】 ・好きな絵本を見たり、読んだりして、文字に関心をもつ。【H】	する。【I】 ・保育者や友達の話の内容を理解し、 言葉による表現を豊かにする。【J】							
	・様々な製作道具に触れながら、自分	る。【J】 ・大きなものでも集中してのりを塗ること ができる。【F】	器の音色を知る。【J】 ・心を込めて歌うことを知る。【J】 ・遊びに必要なものを考えたり、工夫し	いろいろな素材に触れながら、表現することのおもしろさを知る。【J】様々な音楽に触れ、イメージを深めながら、自分なりに表現する。【J】							
		************************************	# 大就園児・2歳児 ・園生活に慣れ、喜んで登園する。 ・好きな遊びを見つけて、のびのびと遊ぶ。とうになる。 ・自分で朝や帰りの身支度ができるようになる。【B】 ・パンツで過ごせるようになる。【A】 ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】 ・ 本意達と一緒に並行遊びを楽しむようになる。【A】 ・ はんで片付けを行う。【D】 ・ 連しかったことを楽しな。【A】 ・ と前を呼ばれたら返事ができるようになる。【E】 ・ 自分の名前が言えるようになる。【E】 ・ 自分の名前が言えるようになる。【E】 ・ 「おはよう」「ありがとう」など簡単な挨拶ができるようになる。【I】 ・ 歌や手遊び、ダンスを通してリズムを感じながら、表現することを楽しむ。【J】 ・ 赤んなで声を合わせて歌えるようにながら、表現することを楽しむ。【J】 ・ 大きなものでも集中してのりを塗ることができる。[F】	大きな遊びを見つけて、のびのびと遊ぶ楽しきを知る。							

【A】:健康な心と体 【B】:自立心 【C】:協同性 【D】:道徳性・模範意識の芽生え 【E】:社会生活との関わり 【F】:思考力の芽生え 【G】:自然との関わり・生命尊重 【H】:数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 【I】:言葉による伝え合い 【J】:豊かな感性と表現

年間計画(未就園児・2歳児)

【学年の重点 】 ・園生活に慣れ、喜んで登園する。 ・好きな遊びを見つけて、のびのびと遊べるようになる。

	I (5月)	Ⅱ(6月・7月・8月)	Ⅲ(9月・10月・11月・12月)	Ⅳ(1月•2月•3月)
子どもの姿	・親子でコーナー遊びや一斉保育に参加する。 ・慣れてくると、自分から好きなところへ行く 姿が見られる。	・幼稚園や保育者に慣れ、自分の好きな遊びを始める。 ・保護者との分離後、泣いたり不安になったりすることがある。	・自分で身支度をしようとする。 ・保育室以外の場所でも興味のある遊びをして みようとする。	・登園を楽しみにするようになる。 ・友達と関わって遊び始める姿が見られる。
保育目標	・幼稚園を知る。 ・幼稚園の楽しさを知る。	・幼稚園に慣れる。 ・保育者や保護者と一緒に、少しずつ好きな遊びを見つける。	・自分で身支度ができるようになる。・自分で好きな遊びを見つけられるようになる。	・脱いだ上着を畳めるようになる。 ・友達と関わりをもちながら、好きな遊びを楽 しむ。
給食目標	・親子で一緒に給食を食べることで、みんなで食べる楽しさを知る。(5)・水分補給をする。(9)	・自分で水筒のお茶を飲めるようになる。(9)	・自分で食べようとする。(5)	・自分で座って食べる。(8) ・食べ物に興味をもつ。(5)

年間計画(年少・3歳児)

【学年の重点】・園生活のルールを覚え、安心して過ごす。 ・好きな遊びを見つけ、体を動かして遊ぶ楽しさを知る。

	・好さな遊いを見つけ、体を割かして遊ふ笑しさを知る。 ────────────────────────────────────									
	I (4月·5月)	Ⅱ(6月・7月・8月)	Ⅲ(9月•10月)	Ⅳ(11月•12月)	Ⅴ(1月・2月・3月)					
子どもの姿	・新しい環境への期待や不安をもっている。 ・園生活の仕方や決まりを知っていく。	・保育者と一緒に行動する中で、 徐々にまわりへの興味を示し、友達 を意識するようになる。 ・外遊びが多くなり、開放感を味わっ て遊ぶ姿が見られる。	・夏休み明けは、戸惑いが見られるが園生活のペースを取り戻していく。 ・体を動かすことが好きになり、遊び が活発になってくる。	いこともしてみようとする。						
保育目標	・クラスの保育者を覚え、新しい友達と親しみ、楽しく登園する。 ・自分のマークを覚え、持ち物を置く場所を知る。 ・園生活の流れを覚え、身の回りのことを自分でできるようになる。 ・元気に挨拶をする。	・自分で着替えられるようになる。 ・友達と玩具などの貸し借りができるようになる。また、協力して片付ける。 ・給食当番の流れを知り、自分で三角巾・マスクを着けられるようになる。 ・食後の歯磨きの仕方を知る。		をしてみようという気持ちをもつ。 ・保育者や友達に、自分の気持ちを 言葉で伝えることができるようにな る。 ・いきっここども劇場の練習や本番を	離を最後まで歩かないで走れるように練習を頑張る。 ・寒くても元気に戸外で遊ぶ。 ・毎日、マラソンの練習に取り組み、 走ることで体が温まることを感じる。 ・違うクラスの友達と進んで一緒に遊ぶ。 ・年中組になることを自覚し、自分のことは自分でする。					
給食目標	・給食があることを知る。(5)・食前食後の挨拶ができるようになる。(5)	・給食当番の流れを知る。(8)	・給食の挨拶をする。(5) ・しっかりと茶碗や皿を持って食べる。(5) ・箸とコップの準備の仕方を知り、自分で準備できるようになる。(7)		・口の中に適量を入れ、よく噛んで食べる。(6) ・最後の一粒まで大切に食べる。(5) ・クラスの友達と楽しく給食をいただく。(5)					

年間計画(年中・4歳児)

【学年の重点】・いろいろな活動に取り組み、自分なりの力を出して充実感を味わう。

	I (4月·5月)	Ⅱ(6月・7月・8月)	Ⅲ(9月•10月)	Ⅳ(11月•12月)	V(1月·2月·3月)
子どもの姿	・新しい環境への不安があるが、保育者に親しみをもち、一緒に遊ぶことで安定してくる。 ・友達が遊ぶのを見たり、真似したりしながら好きな遊びを見つけていく。		・園生活に必要な約束や習慣を思い出し、自分でできることを進んで行う。 ・目標に向かって取り組みながら、友達と協力する楽しさを知る。	・気温の変化に応じて、衣服の調節ができるようになる。 ・秋から冬への季節の変化を見つけ、遊びに取り入れるようになる。	・集団での遊びやルールのある遊びに興味を持ち、取り組むようになる。 ・今まで経験してきたことが自信となり、進級への期待が高まる。
保育目標	・保育者や友達と一緒に活動しながら、新しいクラスに親しみをもつ。 ・自分から進んで、保育者や友達に 挨拶する。 ・園内にある身近な自然や動植物に 興味をもち、春の息吹を感じる。 ・自分の持ち物や使った玩具などを きれいに片付ける。	に最後まで聞く。 ・プールの身支度の仕方を覚え、水遊びを思い切り楽しむ。 ・汗をかいた時は拭いたり、喉が渇いた時はお茶を飲んだりし、自分で考えて行動する。	・運動会に向けての取り組みを通して、友達と力を合わせて、作り上げる喜びを知る。 ・練習で頑張ってきたことに自信をもち、運動会で全力を出し、達成感を味わう。 ・木の実や葉の色の変化に気付き、身近な自然から秋という季節を感	で作った食べ物を食べる楽しさを味わう。また、食べ物の大切さを知る。 ・異年齢児との活動を通して、年長児に憧れをもったり、年少児に優しく接したりすることで、一緒に過ごす楽しさや充実感を味わう。 ・手洗い・うがいを励行し、戸外で元気に遊ぶ。	や、氷・霜などの変化に気付き、冬ならではの自然に触れる。 ・いきっこマラソンに向けて、最後まで諦めない気持ちをもちながら、毎日自分から進んで練習に取り組む。 ・年長児の遊びや活動に興味をもち、教えてもらったり、一緒に行ってみたりして、進級が近付いていることを知る。 ・1年を通してできるようになったこと
給食目標	・新しいクラスのみんなと楽しく給食 をいただく。(5)	・こぼさないように気を付けて食べる。(7) ・歯磨きの際、動き回らないように気を付ける。(10)	る。(7) ・姿勢を正して食べる。(7)	・食材に興味をもって、楽しみながら 食べる。(5) ・足を揃えて、正しい姿勢で食べる。 (7) ・よく噛んで味わって食べる。(7)	大切にしようとする。(6)

年間計画(年長•5歳児)

【学年の重点】・友達との連帯感を深めながら、自分自身の課題に主体的に取り組む。

_										
	I (4月⋅5月)	Ⅱ(6月•7月•8月)	Ⅲ(9月•10月)	Ⅳ(11月•12月)	V (1月·2月·3月)					
子ともの姿	を通して、気の合う友達を見つけていく。・年少児のお世話をすることで、年長としての意識が高まってくる。	し合ったりしながら、目的に向かって活動を進める姿が見られる。 ・周囲の自然物を遊びの中に取り入れていく。	ていく。 ・目標に向かって挑戦したり、全身を 使って運動遊びを楽しんだりしてい る。	る。 ・トラブルを自分達なりに解決しよう	い、着実に歩んでいる手応えを感じる。 ・新年を迎えたり、もうすぐ一年生になることが分かってきたりすることか					
作	たり、名前を呼び合ったりして親しくなる。 ・泣いたり困ったりしている年下の子に気付き、自ら優しく声をかけ、思いやりの気持ちをもって接する。 ・年下の子どもに遊具の遊び方やおもちゃの片付け方を優しく教えることができるようになる。 ・花や虫などを発見し、自然の変化に気付きながらいろいろな友達と共有して遊ぶ。	いたり、天候に合わせて、遊びを考え工夫したりする。 ・よいまつりでの歌や踊りを覚えて、楽しみながら練習に取り組む。また、当日は大勢の観客の前でも、恥ずかしがらずに歌ったり、踊ったりする。 ・体を動かして汗をかいた時は、自	をもって、様々な活動に取り組む。 ・運動会に向けて、それぞれの種目での全体の流れや自分の出番を把握し、友達と教え合ったり、自ら進んで取り組んだりしながら、目標を達成できるようにする。 ・運動会当日に向けて、自らやる気をもって練習に取り組み、達成感をもてるようにする。	なで協力して、練習に意欲的に取り組む。 ・他学年の子どもと交流する中で、思いやりの気持ちをもって接することができるようになる。 ・いきっここども劇場の練習に進んで取り組み、劇の流れや動き・台詞などを覚え、自信をもって臨む。 ・人前で歌ったり、声を出したりして、自分らしくのびのびと表現する。	し、友達と一緒に練習に取り組みながら、できることを増やしていく。 (こま回し・けん玉・マラソンなど)・寒さに負けず、体を動かして戸外で元気に遊ぶことで、心身共に強くなることを知る。 ・卒園に向けての活動に真剣に取り組んだり、遊ぶ時は思いきり遊んだりして、一日一日を大切に過ごす。					
A 食 目 標	をいただく。(5)	・食べる時の姿勢や食べこぼしに気 を付けながら、給食をいただく。(7)	・正しい姿勢で座り、よく噛んで最後まできれいに食べる。(7) ・歯の大切さや生え変わることを意識し、食後の歯磨きを丁寧にする。	・時間内に食べ終えることができるようになる。(8)	・食べ物の働きと体の関係に興味をもつ。(5)・食事のマナーを再確認しながら、落ち着いて食べる。(7)					

月案

未就園児(2歳児) I期 (5月)

保育目標・幼稚園を知る。 ・幼稚園の楽しさを知る。 **子どもの姿**・親子でコーナー遊びや一斉保育に参加する。 ・慣れてくると、自分から好きなところへ行く姿が見られる。

康	人間	関係	環境		言葉		表現	
内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・保護者や保育者と一緒 にタオルやカバンなど自 分の身支度をする。 ・マークシールを活用し て、自分の場所を覚え る。	・保育者を知る。(1) ・友達の存在を知る。(1)	・保護者と一緒に遊ぶ中で、いろいろな人に出会う。	・保護者と一緒に砂遊び を楽しむ。(1)	・裸足で砂や水に触れて遊ぶ。 ・外遊びの安全な遊び方を知る。(砂・水は口に入れない、砂を投げない)	・名前を呼ばれたら返事をする。(5)・保護者と共に保育者と話す。(1)	・朝の輪で手を挙げて返事をする。・保護者と一緒に朝の挨拶をする。		・わらべ歌(おでこさんないて) ・とんとんひげじいさん
	州学年との関わ は		约 · 井拉		即/・理報する		辛寒(ロデル)	
・保護者と一緒にすべり 台や鉄棒に取り組む。			• 園内の飼育動物に目を 向ける。(5)	・カメ・キンギョ・ウサギ	・保護者と共に、保育者 の全体への声かけに興 味をもつ。(5)	・保護者と共に保育者の話に興味をもつ。		・パンダうさぎコアラ・糸車(ぶんぶんまわれつ)・だいすきっちゅ(ふれいダンス)・おさんぽゲーム
	ナカンドフテップ		田宁选目		ナカンドフテップ		制化	
・椅子に座って、周りの友 達や保護者の様子を見な がら給食を食べる。 ・保護者や保育者に手 伝ってもらいながら、お茶 を飲む。				・すべり台・鉄棒(ぶら下がり)・築山(トンネル)				
	地域との関わり		 室内環境		物語		製作道具•材料	
・保育室内では、机や棚 に登らないことを知る。			・保育室で好きな遊びを 見つける。(8)	・好きな玩具を選んで遊ぶ。	・絵本や紙芝居を座って 見る。(9)	【え】だるまさんが 【か】ごきげんのわるい コックさん 【大え】でんしゃにのって		
やすく伝えられるようにす	ペース作りをする。		好きな遊びを選べる環境化	作りをする。	ものや、分かりやすい内容	容のものを準備する。	で楽しめる雰囲気作りをす	⁻ る。
下げがしやすいように、着 高く積み上げないようにす は子どもの手の届かない 見ながら、上靴のかかと	る。 ☆保育者は、一人一人のして園生活に臨めるように ☆家族同士の関わり合い 声をかけたり誘ったりしな く。子どもも保護者も開放	顔を見て言葉をかけ、安心 する。 が増えるように、保育者が がら、遊びの輪を広げてい	し、ゆったりとした気持ちて ☆全クラス親子登園の時 境を知れるように保育計画	で遊べるようにする。 期に、園内のいろいろな環	きるようにする。		ずは見る楽しさを伝え、次 る。 ☆ダンスや手遊びは繰り	第に真似ができるよう! 返し紹介し、子ども達が
	内容 ・保護オル支の一角 ・保護オル支の一角 ・保護サリカの一角 ・保護サリカの一角 ・保護サリカの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のの一角 ・保持のでした。 ・保持のでは、大きのでは、大きのでにという。 ・保持のでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	内容 ねらい 保育者・友達との関わり ・保護者や保育者と一緒 にタオルやカバンなど自分の身支度をする。・マークシールを活用して、自分の場所を覚える。 他学年との関わり ・保護者と一緒にすべり台や鉄棒に取り組む。・ピアノに合わせて動いたり、止まったりする。 セカンドステップ ・椅子に座って、周りの友達や保護者を食べる。・・保護者や保育者に手伝ってもらいながら、お茶を飲む。 地域との関わり ・保育室内では、机や棚に登らないことを知る。 ロ記をから、お茶をかけく伝えられるようにすがすく伝えられるようにする。 ☆ は、一人の時間を設ける。 は子どもの手の届かない ☆ 家族同士の関わりらい。 子どもも保護者も開放に、子どもも保護者も開放に、子どもも保護者も開放に、子どもも保護者も開放に、子どもも保護者も開放に、	内容	内容 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 日然環境 日然環境 保護者と一緒に砂道び 大選者と一緒に遊ぶ中で、いろいろな人に出会う。 (1) 大選者と一緒に砂道び 大選者 大選者 大選者 大選者と一緒に砂道び 大選者 大選者と一緒に砂道び 大選者と一緒に砂道び 大選者 大選を 大選を	内容	内容	内容	内容 おらい 保護者と一緒に遊ぶ中 (保育者と保育者と 保育者を表述の限わり 保護者と一緒に遊ぶ中で、いちいちな人に逆令 保育者を保護者の歌音・表述の、(1) (大きのみ年を書は、 1) (大きのみ年を書は、 1) (大きのみ年を書は、 1) (大きのみ年を書は、 2) (大きのみ年

未就園児(2歳児) II期 (6月·7月·8月)

保育目標・幼稚園に慣れる。 ・保育者や保護者と一緒に、少しずつ好きな遊びを見つける。

子どもの姿・幼稚園や保育者に慣れ、自分の好きな遊びを始める。 ・保護者との分離後、泣いたり不安になったりすることがある。

健	康	人間	関係	環	境	言葉		表現	
ねらい		ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す			
・自分で身支度をしようと	・保育者や保護者に見守 られながら身支度をす る。	・保育者と一緒に遊ぶ。 (1)	・保育者と共に遊ぶ中で、いろいろな人に出会う。	・夏ならではの遊びを楽 しむ。(3)		・保育者に伝えようとす る。(2)		・簡単な手遊びを楽しむ。(6)	・かえるのうた
				・水や泥に触れて、開放的に遊ぶ楽しさを味わう。(4)	・砂遊び ・泥んこ遊び ・水遊び ・色水遊び			•朝の歌を覚える。(1)	・おはようのうた
- 身体測定を知る。(9)									
運動		他学年との関わり		飼育•栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・様々な運動遊具に取り 組む。(2)	・ウェーブバランス ・ミニ太鼓橋 ・トランポリン	・異年齢児と関わりをも つ。(7)	・年上の子から、登園や 身支度を手伝ってもらう。	・園内散歩を通して、園 内の様々な動植物に親 しみをもつ。(5)	・カメ ・キンギョ ・メダカ	・全体への指示を聞こうとする。(5)	・生活を繰り返すうちに、 日常的な指示(お茶を飲む、トイレの時間など)を	・リズムに合わせて体を 動かすことを楽しむ。(1)	・さかながはねて
・水遊びの楽しさを知る。 (3) ・プール遊びの約束事を 知る。(10)	・トンネル(四つん這い) ・中庭の組み立て式プー ルで水遊びをする。				・ウサギ ・ミミズ ・ダンゴムシ		理解し始める。	・盆踊りを知る。(1)	・よいまつりの盆踊りを込 して、和のリズムに触れ る。(炭坑節・その年の盆 踊り)
給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・自分で水筒のお茶を飲めるようになる。(9)	・保護者や保育者に手 伝ってもらいながら、自 分でお茶を飲む。			・保育者や保護者に手 伝ってもらい、築山に登 る。(8)	·築山			・枠線を意識して色を 塗ってみる。(7)	☆母の日プレゼント ☆父の日プレゼント
	л сыжама.			<i>√</i> 0° (0)				・スライムの不思議な感 触を楽しむ。(1)	・スライム
								・夏の製作に取り組む。 (2)	・アサガオ
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・決められた場所で、決められた時間に遊べるようになる。(10)				・雨の日に、室内遊具に 触れる。(8)	・ミニ太鼓橋 ・ウェーブバランス ・室内用すべり台	・絵本や紙芝居を静かに 聞こうとする。(9)	おおきくなあれ 【か】ジュースちょうだい	・クレヨンの楽しさを知 る。(7)	・クレヨン
・避難訓練を知る。(10)	・防災頭巾の被り方を知 る。			・指先を使った遊びに集 中して取り組めるように なる。(2)	・紐通し ・ストロー入れ ・粘土遊び		【え】こぐまちゃんのみずあそび 【大え】ぴょーん	・絵の具ならではの淡い 色を楽しむ。(2)	・絵の具(指スタンプ・にしみ絵)
〇好きな遊びの時間は、使 育者が適宜片付け、転倒の	のないようにする。			〇子どもの興味・関心に基 遊びのコーナー作りを見ご		〇子ども達が集中して見 いの多い作品を紹介する	0	○好きな遊びの中で、いてなどを流し、子ども達が遊現できるようにする。	
〇水筒を取りやすい場所! ができるようにする。		○こどもクラスは、生活の の様子を保護者に伝える		〇子ども達が、遊びに集ゆ、動く楽しさを感じられる どを準備する。		○話を座って聞けるように、畳やマットなどで座る場所を視覚的に分かりやすくする。			
☆トイレの個人の表を作り 況、時間の感覚を把握する	5.			○集中する遊びと動く遊び ぶことができる環境作りを		☆「貸して」など自分のした 単な言葉を分かりやすくる	その都度伝える。	☆朝の歌は、発達段階を の1番のみ歌うようにする	
☆水分補給の状況を把握 調管理に気を付け、一人-		えていく。 ☆一つの遊びにまだ集中 区切りをつけて、メリハリの			うに、保育者が一人一人	☆帰りの輪では、一人一. ることで、聞く姿勢が身に			
【6月】こどもクラススター	-ト(子どものみ各園)・プ	ール開き							
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · ////							
【7月】よいまつり									

未就園児(2歳児) 皿期 (9月-10月-11月-12月)

保育目標・自分で身支度ができるようになる。 ・自分で好きな遊びを見つけられるようになる。

子どもの姿・自分で身支度をしようとする。 ・保育室以外の場所でも興味のある遊びをしてみようとする。

	康	人間	関係	璟		į	葉	表	 ₹現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・身支度の流れを覚える。(8)・上靴を自分で履けるようになる。(7)	保育者に声をかけてもらいながら、身支度をやってみようとする。自分で衣服を脱いで、ト	・ままごと遊びや列車遊びなどは、友達と一緒に	担任を認識する。	・秋ならではの草花や虫に触れる。(3) ・園外の公園へ行き、いつもと違う環境に触れ	・落ち葉 ・エノコログサ ・オシロイバナ ・ドングリ(公園) ・バッタ	自分から保育者に話す。(3)・自分の名前をみんなの	で発する。	·季節の歌を覚え、楽し んで歌う。(6)	・ぞうさん ・どんぐりころころ ・おおきなくりの木の下で ・いもほり ・あわてんぼうの
になる。(7)	イレで排泄をする。 ※パンツへ移行	・玩具の貸し借りなどで 友達と関わる。(12)	1日刊で見入る。	る。(6)	・トンボ ・・シャボン玉	前で言えるようになる。 (5)	言う。		サンタクロース
運動		他学年との関わり		飼育•栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・戸外でかけっこをする。(3)・階段の登り降りをする。(2)	・園庭との行き帰りに走 る。 ・広い園庭で目的地まで 走る。 ・手すりを持って歩く。	・異年齢児の行事などを 見学に行き、異年齢児を 知る。(7)	・運動会、おすもうさん来 園などに参加し異年齢児 の様子を知る。	・種から生長する様子を 観察する。(5)	・冬や春に向けて、野菜や花の種を植える。	・言葉の単語や行動の言葉を覚える。(5)・座って落ち着いて話を	・保育者が活動の内容を 単語で伝え、行動と言葉 を認識する。		・運動会ダンス ・運動会親子ダンス ・どうぶつ体操1・2・3
・様々な運動遊具に取り	 •三輪車					置く。(4)			
組む。(2) 給食・食育	・スクーター	 セカンドステップ		固定遊具		 セカンドステップ		製作	
・自分で食べようとする。	<u> </u>			·ブランコに乗り、揺れる	・ブランコ			・折り紙や製作を通して、	☆クリスマス製作
(5)	分で食べる。			楽しさを味わう。(8)				細かな動作を繰り返す。	・秋の製作(みかん・りん
				・ジャングルジムの一段 目まで登ってみる。(8)	・ジャングルジム				ご・ドングリ)
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・避難訓練に参加する。 (10)	・落ち着いて避難訓練に参加する。	・園外での散歩で園周辺の環境に触れる。(13)	・園以外の場所で、植物や人に出会う。	・使った玩具は自分で片付けられるようになる。		・話の内容を理解し、一つの作品を集中して見る。(9)	【か】くじらクン ボールぽーん 【え】ゆっくとすっく	・のりの使い方を知る。 (5)	- のり(1cm角程)
・園外の道路を友達と手 をつないで歩けるように	の約束事を守りながら、			(17)		0000	【え】 ねずみくんのチョッ キ	・折り紙を知る。(5)	・三角折り ・四角折り
なる。(10)	10分ほど歩く。						【パ】おおきなたいこ	・絵の具スタンプを楽し む。(1)	・絵の具(タンポ・スポンジ スタンプ)
☆排泄時の着脱は、便器 する。 		るきっかけを作る。		きる環境を作る。		とができるようにする。	に置き、自ら広げて見るこ	〇子ども達から自発的に きるように、1学期に行っ て、環境作りをする。	
	るように少しずつ勧める。 .るように、まずは減らして	に、遊びの時間には見守		○保育室の近くにプランターを準備し、野菜や花の 生長を見守れるようにする。		○言葉で要求を伝える機会を増やす為、あえて遊びを準備しないようにし、言葉で伝えられるようにする。			
達成感を味わえるようにす	或感を味わえるようにする。					 ☆活動の内容を短文で伝える。使う物の単語もみ		☆製作では、一人一人の道具の使い方を保育者間	
☆避難がスムースに行えないで歩く機会を作る。	るように、日頃から手をつ	け、園での様子を把握して		☆玩具の片付けでは、片 の形や種類を理解できる		んなで口にしてみたり、語	音栗か仏かるようにする。	で把握する。その都度、信する。	更い方を伝えていくように
【9月】避難訓練 【10月】運動会 【11月】避難訓練 【12月】もちつき									

未就園児(2歳児) Ⅳ期 (1月-2月-3月)

保育目標・脱いだ上着を畳めるようになる。 ・友達と関わりをもちながら、好きな遊びを楽しむ。

子どもの姿・登園を楽しみにするようになる。 ・友達と関わって遊び始める姿が見られる。

	康	人間	関係	環	境	言	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・自分で身支度をする。 (8)	る。	・友達と並行遊びを楽し む。(7)	・ままごと遊びなど一つ の遊びを、保育者を介し ながら、同じ空間で友達	冬や初春の花に触れる。(3)	・サザンカ ・ウメ ・スイセン	・大きな声でみんなの前 で名前を言えるようにな る。(1)	・インタビューごっこ	・行事の歌を歌い、当日 を楽しみにする。(6)	・ゆき ・まめまき ・ひなまつり
・上着の畳み方を知る。(7)・進んで排泄に行く。(7)	・保育者と一緒に楽しみながら上着を畳む。 ・排泄の流れを覚え、自分ですべて行う。男児は		と遊ぶ。 ・ままごと道具や列車玩具などを友達と共有して遊ぶ。		・節分やひな祭りで使われる植物を見る。	・保育者や友達とやりとり を楽しめるようになる。(2)		・みんなで楽しめるわら べ歌を知る。(6)	・こんこんくしゃんのうた・いっちくたっちく
APPR	<u>立ってするように勧める。</u>			知る。(6)					
運動		他学年との関わり		飼育•栽培		聞く・理解する	+10+4	音楽(リズム)	
・動くと体が温まることを 知る。(2)	・定期的にサーキット遊 びやすもうをする。	・異年齢児と楽しく遊ぶ。 (1)	・園庭へ出かけて一緒に遊ぶ。	・カメの変化に気付く。(3)	・カメの観察をし、冬眠を知る。	・保育者の全体への指示を聞き、行動する。(5)		・ダンスは、少し複雑な動 きや速いテンポで踊って みる。(1)	
・先生とのすもうを通し、 すもうを知る。(4)			・進級に向けて制服の着脱を教えてもらう。					 ・簡単な楽器に触れる。 (6)	- ਰ ਰਾੱ
・おにごっこをする。(4)	・広い園庭で走る。								
 給食•食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ			
自分で座って食べる。(8)	・給食時間内は、最後まで座って食べる。			・自分が好きな固定遊具 で安全に遊べるようにな る。(8)				・製作と行事を合わせて 楽しむ。(2)	・たこ ・こま ☆節分製作
・食べ物に興味をもつ。 (5)	・食材の名前を聞くなどして、食べ物に興味をもつ。			3.00					☆ひなまつり製作
		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・避難訓練に参加する。 (10)	・自ら保育者の所へ集まり逃げる。・自分でダンゴムシポー			・運動遊具に自信をもって取り組む。(8)	・ウェーブバランス ・トランポリン ・ミニ太鼓橋	・物語の絵本を集中して 見る。(9)	【か】赤ずきんちゃん 【え】おおかみと七匹のこ やぎ	・のりを丁寧に貼れるよう になる。(5)	·のり
	ズをしたり、防災頭巾を 被れるようになったりす る。				・鉄棒 ・トンネル	・読んで欲しい絵本を先 生に伝えられるようにな る。(3)	【え】三匹のやぎのがら がらどん 【パ】くいしんぼおばけ	・クレヨンの片付け方を知 る。(7)	・クレヨンのふたを自分 閉める。
けたり、空調管理をし、一		〇友達との関わりができる 伝え、お相手さんの存在で		○冬の花を身近に感じらった に飾っておく。	 れるように、靴箱の上など	けて、普段絵本を手に取り	らない子どもも絵本を手に	│ │○歌の内容が分かるよう のイメージを想像できるよ	
る。 ☆手洗い・うがいの声かり	けをこまめに行う。	☆触れ合い遊びなど子ど 友達と触れ合えるようにす			こ遊具を取り出せるように		聞き、子どもが好きな絵本	☆今まで歌ってきた中で、聞き、好きな歌を楽しんで	
☆保育者が室内と戸外でめに行い、子ども達が安全	連携し、人数確認をこま 全に遊べるように見守る。	☆親子クラスは、入園に「行う。	向けて保護者との分離を	☆雪が降った日は、雪や: る。	氷に触れられるようにす	をみんなで見ることで興味 ☆保育者と一緒に、友達	と会話をする楽しさや、一	☆製作では、普段からのり えて、日常でものりを使え	
☆身支度の状況を保育者 向けて、個別に必要なこと		☆友達とのやりとりの中で の気持ちを伝え合う。	、保育者が仲介し、互い			緒に遊ぶ中でやりとりをす	る栄しさを味わり。		
【1月】お正月遊び・避業 【2月】まめまき	進訓練								

月案 年少(3歳児) I期(4月・5月)

保育目標・クラスの保育者を覚え、新しい友達と親しみ、楽しく登園する。

- ・自分のマークを覚え、持ち物を置く場所を知る。
- ・園生活の流れを覚え、身の回りのことを自分でできるようになる。
- ・元気に挨拶をする。

子どもの姿・新しい環境への期待や不安をもっている。 ・園生活の仕方や決まりを知っていく。

【 健	康	人間	関係	環	遺境	1	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	き場所、並び方、手の洗い方を知る。 ・並ぶ時は「電車つなが	・保育者やクラスの名前を 覚える。(1) ・友達の名前を知る。(1)	・友達の存在に気付く。	・園内の植物に興味をも つ。(1)	・タンポポ ・チューリップ ・チョウ	・保育者に元気に挨拶を する。(6)	・朝の挨拶の時間にみんなで挨拶をし、挨拶を覚える。		・朝の歌
運動		 他学年との関わり		 飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・保育者と一緒に戸外に	・クラス全員で、戸外で遊 ぶ。	・身支度を手伝ってもらう ことを通して年長・年中児 と関わりをもつ。(7)		・園内には色々な虫や飼育動物がいることを知る。 (5)	・ウサギ ・カメ	 保育者の話を聞こうとする。(4) 名前を呼ばれたら返事をする。(5) 		・表現遊びに進んで参加しようとする。(6)	・チューリップ ・こいのぼり
給食·食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・給食があることを知る。(5)・食前食後の挨拶ができるようになる。(5)	・コップ・スプーン・フォーク は園のものを使用する。			・固定遊具の使い方を知 る。(8)	・保育者と一緒に遊びながら、安全な使い方を知る。				
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・避難訓練について知り、 避難の仕方を経験する。 (10)	・上靴のまま逃げる。			・赤白並びを知る。(11) ・自分のマークを覚え、所 定の場所に自分で片付け ようとする。(11) ・降園方法を知る。(11)	・お相手さんの名前を覚える。・バス降園の際の待機の場所や方法を知り、覚える。	・絵本や紙芝居を座って 見る。(9)	きくなあれ 【か】ごきげんのわるいコッ クさん	・クレヨンの使い方を知る。(7)・粘土の使い方を知る。(7)・のりの使い方を知る。(7)	
○自分のペースで遊びが近 所を作る。	Éめられるような時間と場	〇気の合いそうな子を同じ るようにする。	グループにし、交流がもて		」 付けしやすいように、マーク 高さなどの位置にも考慮す			〇子どもが親しんでいる歌 する。	でを選曲し、楽しめるよ
○園生活の流れを身に付けながら行う活動を中心にす ☆園生活を楽しみながら、まけられるようにする。 ☆保育者の愛情を感じられ と触れ合い、安心感をもてき	る。 集団生活のきまりを身に付 .るよう、一人一人の子ども	キンシップをとる。	いけ、手をつなぐなどのス 、園生活での様子を知らせ	自分でシールを貼れるよう ☆戸外に誘ったり、一緒に るようにする。	一緒に出たりして、安心して遊べ			○製作物では、作業が少なものを用意する。☆リズム遊びや体操は自然者が楽しんで体を動かしな☆のり・粘土へラ・はさみばが保管しておく。	然に参加できるように たがら伝える。

【5月】避難訓練・歓迎遠足・創立記念日・誕生会・歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)

年少(3歳児) Ⅱ期(6月・7月・8月)

保育目標・自分で着替えられるようになる。

- ・友達と玩具などの貸し借りができるようになる。また、協力して片付ける。
- ・給食当番の流れを知り、自分で三角巾・マスクを着けられるようになる。
- ・食後の歯磨きの仕方を知る。

子どもの姿・保育者と一緒に行動する中で、徐々にまわりへの興味を示し、友達を意識するようになる。 ・外遊びが多くなり、開放感を味わって遊ぶ姿が見られる。

健	康	人間	関係	環	境	<u> </u>	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・プールでの着替え方を 覚える。(8) ・自分から水分補給をした り、汗を拭いたりしようと する。(6) ・裸足での遊び方を知る。 (3)	分で着替えるようになる。	・教育実習生を知り、一緒に遊びを楽しむ。(13)・隣のクラスの友達を知り、楽しみながら一緒に活動する。(5)	・教育実習生の名前を覚え、一緒に遊ぶことで、親 しみをもって接することが できるようになる。	・水を使って遊ぶ。(4)・シャボン玉の膨らむ様子や飛び方に興味をもつ。(1)・身近な虫に興味をもつ。(5)	・泥団子を作ったり、砂場で山を作って遊ぶ。 ・シャボン玉 ・ダンゴムシ ・ミミズ ・アリ	・したいことや困ったこと などを言葉で伝える。(3)	・短冊へのお願い事を保育者に伝える。	・保護者参観の歌を喜ん で歌う。(6)	・きゃべつのなかから ・たなばたさま ・しあわせならてをたか う
運動 ・すもうのルールを知り楽しむ。(4)	・すもうの約束事を知り、 保育者を強く押そうとす る。	過ごせるようになる。(7)	・お相手さんに優しくして もらうことで、ミックス ジュースのクラスでも安心 して過ごす。	飼育・栽培 ・植物の栽培をする。(5)	・トマト、キュウリの苗を植 える。	聞く・理解する ・保育者の顔を見て話を 聞こうとする。(4)	・前で先生が話し始めたら、静かにして話を聞こうとする。	音楽(リズム) ・よいまつりの歌や踊りを 人前でものびのびと表現 しようとする。(1)	
給食·食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
·給食当番の流れを知 る。(8)	・保育者と一緒に給食室 にワゴンを取りに行く。 ・配膳する。(おぼんから)	よく聞く気持ちを向ける	・新しい友達を迎える ・よく聞く ・気持ちを向ける	 ・園庭にある様々な遊具に触れる。(8) ・ブランコの安全な使い方を知る。(8) ・鉄棒の仕方を知る。(8) 	・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・ぶら下がる	・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼む	・新しい友達を迎える ・よく聞く ・気持ちを向ける	・絵の具を使って指スタンプをし、絵の具の感触を楽しむ。(1) ・スライムを作りその感触を楽しむ。(1)	☆保護者参観製作☆よいまつり製作☆よいまつり掲示☆七夕製作☆スライム
 安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
・プールでの約束事を知	・プールに入る前には体 操をし、保育者の話をしっ かり聞く。			・おたより帳のシールを貼る場所を自分で確認して貼る。(9) ・掃除の時間にゴミ拾いを行う。(7)		・保育者の話を座って聞 く。(9)	・紙芝居や絵本の時間は 座って落ち着いて見る。 【え】ぐるんぱのようちえん 【え】こぐまちゃんのみず あそび 【え】ぞうくんのさんぽ	・粘土をものに見立てて遊ぶ。(4) ・はさみで画用紙の一回切りをする。(7)	・粘土 ・はさみ(1回切り) ・ペン
○怪我を防ぐために、遊具 する。	」 人の設置場所や内容を考慮	☆友達と気持ちが通じなし り、相手の気持ちを伝える		○天候や気温に合わせて できるように準備する。	、室内外で様々な遊びが	〇読みたい絵本を取り出 環境作りする。	」 して見ることができるよ う な	〇製作する時の紙の大き いやすさを考慮する。	」 さや形は、活動内容や
○裸足で戸外へ出る機会 ☆保育者も遊びに加わった だりして、共感をもちやすい ☆水分補給の声かけをこま	たり、一緒になりきって遊ん いようにする。	☆くじ引きでグループ替えたわりがもてるようにする。 ☆初めての教育実習生に どもの状況に合わせて、接	安心感を抱けるように、子	に合わせて活動できるよう	にする。		ら絵本の読み聞かせを通し、童話などのおもしろさが伝	〇粘土・スライムなど、汚 現する楽しさを伝える。	れを気にせずのびのび

【6月】教育実習・保護者参観日・プール開き・内科検診・誕生会・避難訓練

「 【7月】クラス懇談(親子でクッキング)・誕生会(7月8月)・避難訓練・よいまつり・終業式

年少(3歳児) Ⅲ期(9月・10月)

保育目標・園生活のリズムを思い出し、自分のことは自分でする。

- ・運動会の練習を通して、友達と一緒に走る・踊る・体を動かす楽しさを味わう。
- 初めての運動会を楽しみ、すべての種目に元気いっぱい取り組む。自分一人で着替えに集中して取り組む。

【10月】教育実習・運動会・園外保育・運動能力測定・避難訓練・誕生会・おすもうさん来園

子どもの姿・夏休み明けは、戸惑いが見られるが園生活のペースを取り戻していく。 ・体を動かすことが好きになり、遊びが活発になってくる。

侹	康	人間	関係	環	境	富	葉		現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・園生活のリズムを思い 出し、自分のことは自分 でする。(7)		しみながら、いろいろな遊		・秋の自然に興味をもつ。 (3) ・いろいろな虫を見て、虫 への興味・関心を広げ る。(5) ・秋に咲いた花やその香 りに気付く。(1)	・バッタ ・カマキリ ・ミミズ ・ダンゴムシ		ながら、二語文程度で伝	・季節を感じながら楽しん で歌う。(6)	・とんぼのめがね ・どんぐりころころ
		他学年との関わり		飼育•栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・運動会があることや種目について知る。(4) ・運動遊具の使い方を知り、遊ぶ。(2) ・すもうで相手を押せるようになる。(4) ・運動能力測定に参加す		・運動会を通して、年中・年長の活動に興味をもつ。(4)				・遊びを楽しむ中で、相手 の話も聞こうとする。(4)		・リズムに合わせて体を 動かす。(6)	・アブラハムの子 ・バスにのって ・運動会のダンス
<u>る。(2)</u> 給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		 セカンドステップ		製作	
・給食の挨拶をする。(5) ・しっかりと茶碗や皿を 持って食べる。(5) ・箸とコップの準備の仕方 を知り、自分で準備できる ようになる。(7)		気持ちを向ける自分に話す	・自分に話す ・言葉の通りにする ・自分にして欲しいことを 頼む	・鉄棒に進んで取り組む。 (8) ・太鼓橋に取り組む。(8)	・ぶら下がる ・ぶたのまるやき ・太鼓橋	・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼 む	・自分に話す ・言葉の通りにする ・自分にして欲しいことを 頼む	・折り紙でイメージしたも のを完成させる楽しさを 味わう。(4)	☆運動会の壁面製 ・折り紙「いぬ」 ・折り紙「どんぐり」 ・静物画(見て描く)
		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・避難訓練での約束事が 身に付く。(10) ・防災頭巾の被り方や地 震の際の身の守り方が身 に付く。(10)	容を理解し覚える。	・動物園への園外保育では、動物園の方に挨拶する。また、公共の場でのマナーを知る。(13)		・運動会の種目の練習をする。(8) ・掃除の時間に雑巾がけを行う。(7)	・ウェーブバランス	・絵本の借り方、返し方を 知る。(5) ・長い時間集中して見るこ とができるようになる。(9)	【え】うんどうかいがはじ まった	・はさみをよく動かして紙を切る。(5) ・手先をしっかりと動か し、のりを塗る。(7) ・のりを紙の周りだけ塗っ て貼り付ける。(7)	・はさみ ・のり ※作品名ラベル貼 タート
○好きな遊びと課題遊びる		○友達と遊ぶことが楽しい				○図書貸し出しカードを準	<u>I</u> 備する。	☆のり・はさみ・粘土へラの	
に準備する。	東事を視覚的に分かるよう きったり踊ったりして、一緒	者も仲間に入って関わりを ○運動会などの特別保育 活動に興味がもてるように ☆遊んでいる中で、けんか く見守り、状況を把握したよ る。 ☆夏休み明けで、園生活の いるため、焦らずじっくり関	活動に向けて、集団での する。 などが起きた時は、しばら こで、保育者が仲介に入)リズムが戻りにくい子も		徴に気付けるようにする。	○絵本・紙芝居や歌を通し にする。 ☆小さなトラブルでも、それ お互いの気持ちを代弁し、 ☆まず相手の言葉をしっか うに助言する。	nぞれの思いを受け止めて 納得できるようにする。	☆はさみは、状況を見て値	も達の状況に合わせ

年少(3歳児) Ⅳ期(11月・12月)

保育目標・異年齢児と一緒に遊んだり、関わったりする中で、年長・年中児の真似をしてみようという気持ち

子どもの姿・友達と一緒に行動する中で、できないこともしてみようとする。

・年中・年長児の活動や遊びに憧れをもち、真似て自分なりにやってみようとする姿が見られる。

- ・保育者や友達に、自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになる。
- ・いきっここども劇場の練習や本番を通して、大きく体を動かし、役になりきって表現する。 ・冬に向けての必要な生活習慣(うがい・手洗い・衣服の調節)を身に付ける。

健	康	引人	関係	環	境	言	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・冬の生活習慣(手洗い・うがい・衣服の着脱)を自分で判断してできるようになる。(9)	知る。	・いきっここども劇場の練習を通して、同学年の関わりを深める。(8) ・友達と一緒に遊びを楽しみ、関わりを深める。(10)	年合同で行う。 ・ルールのある遊びを楽	・落ち葉、木の実に興味を 示し、それを取り入れて 遊ぶ。(4)	・落ち葉 ・イチョウ ・ドングリ(公園)	・してほしいこと、してほしくないことを先生や友達に文章で伝えようとする。(3) ・グループ名決めで自分の考えを言えるようにな		・ロを大きく開け、丁寧に 歌う。(8)	・まつぼっくり ・やきいもグーチーパー ・赤鼻のトナカイ ・あしたもともだち
						る。(4)			
運動		他学年との関わり		飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・思い切り体を動かすと、 体が温まることを感じる。 (6)	・リズムジャンプ ・大縄(跳び超える・へび) ・しっぽとり	・異年齢児と一緒に活動することを楽しむ。(5)	・ミックスジュース(縦割り 保育)を通して、年中・年 長児との関わりを深め る。	・ウサギに餌をあげようと する。(5)	・大根葉やキャベツなど、 ウサギが好む葉を探して あげてみる。		・ダンスの練習などを通し て、言われた動きをしよう とする。	・身近なものになりきっ て、体で表現することを楽 しむ。(8)	・いきっここども劇場に向けて、ダンスに取り組む
・いろいろな運動や遊び の仕方を知り、運動経験 を広げる。(2)	・横転 ・トランポリン	・縦割り保育の中で積極 的に活動に参加する。(7)	・年中児との散歩						
給食•食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・自分でトレーを近付け て、姿勢を正しくして食べ ることができるようにな る。(5)	・椅子を机に近付けて食べる。・当番は汁物も運べるようになる。	・自分や相手の気持ちが 分かる・相手の立場に立つ・優しいことを言う	・気持ちが分かる I ・気持ちが分かる I ・怒りが分かる	・太鼓橋を渡り切る。(8)	・太鼓橋では、方向転換の仕方を身に付ける。	・自分や相手の気持ちが 分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・気持ちが分かる I ・気持ちが分かる I ・怒りが分かる	・季節の自然を取り入れ、 季節を感じながら製作に 取り組む。(5)	・折り紙「みのむし」 ☆クリスマス製作
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
・交通ルールがあることを 知り、歩きながら意識でき るようになる。(10)		・地域の方に挨拶をする。(13)・園に来られた保護者の	方に挨拶する。	・自分のものやクラスのも のを大切にする気持ちを 込めて掃除に取り組む。 (7)	・お道具箱整理の流れを 覚え、自分で取り組める ようになる。	んなで楽しみ、好きな登	【え】てぶくろ 【え】おおかみと7ひきの こやぎ 【か】おなべことこと	・のりの分量を考えて貼る ことができるようになる。 (5)	·04
		方に進んで挨拶する。(2)				(c)	10000	・はさみで長い直線を切 れるようになる。(5)	・連続直線切り
○手洗いの仕方が視覚的 える。	I にも分かるように環境を整		I ・年中児の活動をきっかけ 遊び場を広げたり、新たに		付くように、散歩の機会を	○季節の絵本や紙芝居を 子どもが進んで触れる機会		〇子ども達が踊ったり歌っ間に流しておく。	I たりできる曲を、遊びの
○寒くても戸外で遊びたくなびを提案したり、遊びが広	がる環境を整える。	☆遊びに入れない子には んなで遊ぶ楽しさを味わえ		○落ち葉や木の実を使った 材料・用具を準備しておく。	0	☆お話の世界を楽しめる。 イメージを膨らませることが	ができるようにする。	☆ダンスの練習をする中で せるようにする。	
☆簡単な集団遊びのルー がら理解できるように援助				ようにする。		☆遊んでいる中でけんかれ 同士伝えられない気持ちる でも子ども自身が伝えられ	を言葉で補いながら、少し		、表現することの意欲を
				☆自然の変化や気温の変 節の変化を感じられるよう					
【11月】避難訓練・誕生	<u></u>								

行 事 【12月】いきっここども劇場・避難訓練・誕生会・もちつき・終業式

年少(3歳児) V期(1月-2月-3月)

保育目標・いきっこマラソンに向けて、長い距離を最後まで歩かないで走れるように練習を頑張る。

- ・寒くても元気に戸外で遊ぶ。
- ・毎日、マラソンの練習に取り組み、走ることで体が温まることを感じる。
- ・違うクラスの友達と進んで一緒に遊ぶ。 ・年中組になることを自覚し、自分のことは自分でする。
- ・クラスのみんなで遊ぶことを思いきり楽しむ。

子どもの姿・寒さのため、排泄を失敗することが多くなる。

- ・身の回りのことがだいたい自分でできるようになり、安定した園生活を送れるようになってくる。・クラスのまとまりが出てきて、みんなでいることに満足する姿が見られるようになる。

健 健	康	人間	関係	環	環境	 	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
までにできるようになった ことを振り返りながら、身 支度に丁寧に取り組む。 (8) ・使ったものはその都度 片付ける。(8)		できなかったことにでも自	・自分のしたいことを周りに伝え、先生に教えてもらったり、友達と教え合ったりしながらできなかったことに取り組む。		· 雪 · 氷 · ウメ	年始の挨拶を元気にする。(6)みんなの前で経験したことを話す。(2)	・「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。」を言えるようになる。 ・嬉しかったことや楽しかったことを友達や保育者に自分から話そうとする。	歌えるようになる。(3)	・あぶくたった ・たきび ・はないちもんめ ・コンコンクシャンのうう ・めだかのがっこう ・ちいさなにわ ・よいこのうた(園歌) ・卒園の歌
運動		他学年との関わり		飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・マラソンがあることを知る。(2)・寒くても、自分から戸外で遊ぶ。(3)	・マラソン(公園1周)	・年長・年中児への憧れの気持ちをもつ。(4)・卒園する年長児へ感謝の気持ちをもつ。(5)	・縦割りの活動を通して、 感謝の気持ちを込めてプレゼントを作ったり、練習 に取り組んだりする。			・保育者や友達の話を共感して聞く。(1)		・タンバリンや鈴を簡単な リズムに合わせて鳴らせ るようになる。(6)	
給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・ロの中に適量を入れ、	 ・箸を使って最後の一粒	自分や相手の気持ちが	 ・同じ気持ち・違う気持ち	・登り棒に取り組む。(8)	<u>・</u> 登り棒	自分や相手の気持ちが	- ・同じ気持ち・違う気持ち		☆たこ
よく噛んで食べる。(6) ・最後の一粒まで大切に	までつまめるようになる。 ・自分で食器がきれいに なったか確認できるよう になる。	分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・うっかり ・優しいことを言う・助ける		•室内用鉄棒	分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・うっかり ・優しいことを言う・助ける	ちなんだ製作に取り組	☆節分製作 ☆思い出バック ☆ひな祭り製作 ☆思い出製作(紙粘土
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・車に気を付けて、道の 端を意識して歩けるよう になる。(10)	・自分の目で見ながら、 壁際に避けるようにな る。	感謝の気持ちを伝えたり する。(13)		・日本の伝統的な行事や 遊びを知り、楽しむ。(6)	・お正月遊びを通して、日本の伝統的な遊びを知り、楽しむ。(福笑い・だるま落とし・手回しこま・かるたなど) ・まめまきやひな祭りについて知る。	きなお話を見つける。(9)	・図書貸し出しなどで自 分の好きな絵本や紙芝 居を選び、読んでもらう。 【え】ねずみのおいしゃさ ま 【え】おひなさま 【え】おおきくなるっていう	・大きなものでも集中してのりを塗ることができる。(5)・紙粘土に絵の具を混ぜ	ど、大きなものでもはれないようにのりを塗 とができる。
					O · C XH · O ·		ことは	2000	がなり
〇暖かいひだまりなどに、 たりして、戸外に出て遊び		〇進級を考え、積極的にな たり、交流の機会を作って		〇お正月遊びを保育室に けやすいように容器などを		○冬休みの話など、クラス 会を設ける。	スのみんなの前で話す機	〇好きな遊びの時間にも るように、玩具の棚に置い	
☆箸の使い方を一人一人 食器を自分で確認するよう		〇進級に向けて隣のクラスように、学年での合同保育		☆霜·雪など、冬の自然明 る。	見象に触れる機会を設け	☆一人一人の子どもと十 認めながら自信をもてる。	分に会話を交わし、成長を ようにする。	〇思い思いに絵を描いた て遊べる製作コーナーを	
		☆進級に向けて、友達関係 く。	系をしっかりと把握してお	☆春の花が咲いているこ。 に声かけを行う。	とや、香りに気付けるよう	☆子ども達が発表する時 るように言葉を補う・説明	には、他の子どもにも分か するなどの援助をする。	☆いろいろな道具の使い うに配慮する。	方を伝え、安全に使える
【1月】始業式·交通安全	≥数字•避難訓練•誕生≤	│ │ 							

行 【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー 事

【3月】避難訓練・誕生会・卒園式・終業式

月案 年中(4歳児) I期(4月・5月)

保育目標・保育者や友達と一緒に活動しながら、新しいクラスに親しみをもつ。

【5月】運動能力測定・避難訓練・歓迎遠足・創立記念日・誕生会・歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)

- ・自分から進んで、保育者や友達に挨拶する。
- ・園内にある身近な自然や動植物に興味をもち、春の息吹を感じる。 ・自分の持ち物や使った玩具などをきれいに片付ける。

子どもの姿・新しい環境への不安があるが、保育者に親しみをもち、一緒に遊ぶことで安定してくる。 ・友達が遊ぶのを見たり、真似したりしながら好きな遊びを見つけていく。

康	人間	関係	環	遺境	1	葉	表	現
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	友達との関わりの中で、 好きな遊びを見つけ、安	り、友達と活動をしたりし て、一緒に過ごすことを楽		・チューリップ ・サクラ ・シロツメクサ ・チョウ ・スズメ ・ツバメ	・日常生活や遊びに必要な言葉の使い方に気付く。(5) ・挨拶を自分から進んでする。(6)	・日常生活で使う挨拶や、「貸して」など遊びの中で様々な言葉を使うことで、話すことを楽しむ。 ・保育者や友達の顔を見て挨拶をする。	みんなで歌うことを楽し	・チューリップ ・あくしゅでこんにちは ・こいのぼり ・おちゃらか
	他学年との関わり		 飼育・栽培		 聞く・理解する		音楽(リズム)	
・いろいろな運動を体験 し、体の使い方を知る。 ・グーパージャンプ	・ミックスジュース(縦割り 保育)で他学年にどんな 友達がいるのかを知る。 (7)	・他学年の友達の様子 や、取り組みの様子に目	・春の花を知り、水やりなどの世話を進んでする。 (5)	・水やりなどの世話をする ことで、植物の生長を知 る。	•	着いて話を聞く。また話を	・曲に合わせて体を動かすことを楽しみ、のびのび	・曲に合わせて踊るこの楽しむ。
	セカンドステップ		固定游具		セカンドステップ		製作	
ループの友達と一緒に給			・ブランコ・すべり台を通して、自分から進んで遊ぶことを楽しむ。(8) ・好きな遊びの時間に鉄棒に取り組む。(8)	・自分でこいだり、滑ることを楽しむ。 ・足抜き ・尻あがり			・自由に作ったり、描いた りすることを楽しむ。(4)	☆こどもの日製作 ☆お母さんの絵 ☆母の日プレゼント ☆お父さんの絵 ☆父の日プレゼント ☆ 株雨製作
	地域との関わり		 室内環境				│ 製作道具·材料	
べり台)の使い方を再確 認する。	・周囲にどんな公園があ るのか知る。(13)	のか知る。	・保育室内の玩具を使	た玩具を使って楽しく遊ぶ。	絵本の内容をじっくり見	[え]ぐりとぐら	・はさみやのり、セロハン テープなどに興味をもち、 遊びに取り入れる。(5) ・必要なのりの分量を知	・はさみ ・のり ・セロハンテープ
				 (砂場セットなど)を準備し		<u> </u> 作り、発言することの楽しさ		<u> </u> プなどの素材を準備し
など)の安全確認をしてお したことに自信をもてるよう	する。 ☆友達関係や園での遊び家庭との連携を密にとる。	や活動の様子を把握し、	〇マークシールをロッカーが分かるようにする。 〇触れると危険な生き物が シ・ハチなど)	がいることを伝える。(ケム	☆相手の話をしっかりと聞 に助言し、最後まで話を聞		 ☆歌や手遊びは、いろいろ	とができるようにする。 手遊びをすることで歌う
	・衣服を畳んで、自分でる。 ・衣服を畳んで、自分でる。 ・放展を畳んで、自分である。 ・固かられるようにする。 ・固からはでし、が大半ので、が大半ので、が大半ので、が大半ので、が大半ので、が大半ので、が大半ので、では、いったが、はいった。 ・が、からないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	内容 ねらい 保育者・友達との関わり ・衣服を畳んで、自分で袋・新しいクラスの保育者や友達との関わりの中で、好きな遊びを見つけ、安心して過ごす。(1) ・固定遊具に挑戦する。・いろいろな運動を体験し、体の使い方を知る。・グーパージャンプ・大縄(ゆうびんやさん10回) ・新しいクラスの新しいグループの友達と一緒に給食を食べることを楽しむ。 ・ 地域との関わり ・ 周囲にどんな公園があるのか知る。(13) ・ 周囲にどんな公園があるのか知る。(13) ・ 原番を守って遊ぶ。 ・ 保育者との関わり ・ 周囲にどんな公園があるのか知る。(13) ・ 大きな環境の変化の中でする。など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお など)の安全確認をしてお	内容	内容 内容 ねらい 内容 ねらい 日然環境 日然環境 日 日 日 日 日 日 日 日 日	内容 内容 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 日本環境 不可に表現を置んで、自分で登 新しいウラスの保育者や い方との選出を取り、	内容 内容 内容 内容 内容 内容 大える・話す 大える・話す 大える・話す 大える・話す 大える・話す 大きな遊びを見つけ、安して満してより、安して満してまり、安全が変える。	内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容 内容	内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 おらい 内容 おしい 内容 かられる 大きため 内容 かられる 大きため 内容 大きため 大きため 内容 大きため 大きため 内容 大きため 大きため 内容 大きため 大きため

年中(4歳児) Ⅱ期(6月-7月-8月)

- 保育目標・話をしている人の方を向いて、静かに最後まで聞く。 ・プールの身支度の仕方を覚え、水遊びを思い切り楽しむ。 ・汗をかいた時は拭いたり、喉が渇いた時はお茶を飲んだりし、自分で考えて行動する。

子どもの姿・友達と一緒に、遊びや活動を進める楽しさを知る。

・泥遊びや水遊びなど、体全体で触れ、楽しむことができる遊びに興味をもつ。

健	康	人間	関係	環	境	1	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・気候に合わせて体調管 理に気を付ける。(9)	・衣服の調整や水分補給 の大切さが分かり、自分 で行う。		・自分のしたい遊びに じっくり取り組んだり、保 育者や友達と関わって好 きな遊びを楽しんだりす る。	・植物を見つけたり、虫を 捕まえたりして、夏の自 然に興味をもつ。(4) ・土や水の感触に触れ る。(裸足で遊ぶ・水遊 び・泥遊びなど)(1)	・アジサイ・ダンゴムシ・カタツムリ・ナメクジ・セミ・土・水・泥		遊びに必要な言葉を使	・声と心を合わせて歌うことを知る。(3) ・手合せ遊びなど二人で行う手遊びに触れる。(1)	・あめふりくまのこ ・きらきらぼし ・たなばたさま
運動		他学年との関わり		飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
いろいろな遊具や遊び に興味をもち、挑戦す る。(2)水遊びを通して気持ち よさを味わう。(4)	・ケイドロ・水遊びでのルールや身 支度の仕方を知る。	・登降園時や好きな遊び の時間に、いろいろな友 達と遊ぶことを楽しむ。 (5)		・自然の植物を触ったり、 観察したりして楽しく遊 ぶ。(2)	・花びらでの色水遊びや、観察して植物の生長に興味をもつ。・サツマイモ・ヒマワリ	・保育者や友達の話を最 後まで聞く。(4)	そうとしているのか、相手		・よいまつりでの盆踊り のびのびと踊る。
 給食·食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		 製作	
こぼさないように気を付	・体を机に近付けて、皿に手を添えて食べる。	・我慢できない気持ちが分かる・自分の我慢できない気持ちが分かる・我慢できない気持ちが分かる・我慢できない気持ちを落ちつける	・身体で気持ちが分かる・我慢できない気持ち	・太鼓橋・登り棒を通して、自分から進んで遊ぶことを楽しむ。(8) ・鉄棒の前回り降りの練習に励む。(8)	・落ちないように体全体 でバランスをとったり、手 や足を上手に使って登っ たりする。	・我慢できない気持ちが 分かる	・身体で気持ちが分かる・我慢できない気持ち	・七夕に興味をもち、由 来を知る。(2) ・よいまつりに関する活 動を通して、当日に期待 をもつ。(2)	☆保護者参観製作 ☆よいまつり製作 ☆よいまつり掲示 ☆七夕製作 ☆スライム ・折り紙「金魚」
安全 ・避難訓練を通して、災害時の避難の仕方を知る。(10)	・避難経路、避難方法の 確認をする。	地域との関わり ・周囲にどんな公園・施設・店などがあるのか、 散歩を通して知る。(13)	・近所への散歩を通し て、消防署や近所のお店 の存在に気付く。	室内環境 ・戸外で遊べない梅雨の季節に、製作やままごとなどコーナー遊びを楽しむ。(3) ・グループごとに掃除場所を分担して掃除をする。(7)	・自分でしたい遊びを見 つけ、友達と譲り合った り、役割分担をしたりしな がら遊べるようになる。	物語 ・絵本の登場人物の気持ちを考えながら見る。(9)	【え】はははのはなし 【え】どろんこハリー	製作道具・材料 ・スライムやシャボン玉などの色々な素材があることを知る。(1)	
 ○安全に遊べるように、遊 する。	び場や遊具を十分点検	○好きな遊びができる時間な遊びを経験できるように		O <u> </u>		〇絵本を分類しておき、 うにする。	 子ども達が選びやすいよう	〇遊びに使う素材は、使い 種類を分けたりしておく。	L いやすい大きさにしたり
○身支度や片付けがスム 物の場所を決めておく。 ☆いろいろな運動遊具に関 使い方を知らせていく。				○解放感を味わう水遊び バケツなどを用意し、してる。 ☆戸外で一緒に遊ぶ中でらせたり、一緒に観察をし 然事象に気付けるようにな	みたいと思う環境を整え 、園内の木々や植物を知 、その時期ならではの自	☆季節や子どもの興味に する。	合う絵本の読み聞かせを	○季節の曲や日本の曲(に入るようにする。☆子どもの喜びや気付きえるようにする。	

事 【7月】誕生会(7月8月)・避難訓練・よいまつり・終業式

年中(4歳児) Ⅲ期(9月・10月)

保育目標・夏休みに体験したことを友達と伝え合ったり、遊びに取り入れたりする。

【10月】教育実習・運動会・運動能力測定・避難訓練・誕生会・おすもうさん来園

- ・運動会に向けての取り組みを通して、友達と力を合わせて、作り上げる喜びを知る。
- ・練習で頑張ってきたことに自信をもち、運動会で全力を出し、達成感を味わう。 ・木の実や葉の色の変化に気付き、身近な自然から秋という季節を感じ、感性を高める。

子どもの姿・園生活に必要な約束や習慣を思い出し、自分でできることを進んで行う。 ・目標に向かって取り組みながら、友達と協力する楽しさを知る。

	康	人間	関係	環		1	葉	表	
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・自分で確認して、持ち帰るものを把握する。(8)		・自分の思いを保育者が 受け止めてくれる嬉しさを 感じる。(1)		・秋の自然に触れ、園内 の様々な場所の生き物や 植物に関心をもつ。(3)	・キンモクセイ ・オシロイバナ ・トンボ ・バッタ ・カマキリ ・ミミズ ・ダンゴムシ	・経験したことを保育者や 友達に伝えることを楽し む。(1)	・自分のしたい遊びをする 中で、自分の思いや考え を言葉で相手に伝える。	・秋の風景を想像しなが ら優しく歌う。(6)	・うんどうかいのうた ・とんぼのめがね ・まつぼっくり ・大きな栗の木の下で ・夕焼けこやけ
		他学年との関わり		飼育・栽培		 聞く・理解する		 音楽(リズム)	
・いろいろな運動遊具に 興味をもって取り組む。 (2) ・すもうに取り組むことで、	長繩など、様々な遊具に 挑戦して楽しむ。	・ミックスジュース(縦割り 保育)で、お相手さんとの		・秋の植物や自然に興味 をもち、季節の移り変わり に気付く。(3)	・散歩に行ったり、園内の 植物を見て、季節の移り 変わりに気付けるように する。 ・サツマイモ収穫	・相手の気持ちを知り、自	・相手の話を最後まで聞き、どんな気持ちだったのかを考える。	言葉やリズムに合わせ	・運動会でのダンス ・あぶくたった ・フルーツバスケット ・椅子取りゲーム
 給食•食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・箸を使って、最後まできれいに食べる。(7)・姿勢を正して食べる。(7)・クッキングを通して、素材の変化や大切さに気付く。(5)	いただく気持ちをもつ。 ・月見団子作りやサツマ	・我慢できない気持ちが 分かる・自分の我慢できない気 持ちが分かる・我慢できない気持ちを落 ちつける	·待つこと	・ブランコ・鉄棒を通して、 自分から進んで遊ぶこと を楽しむ。(8)	・自分でこぐ・体を支える・ 回ることを楽しむ。 ・スクーター ・フラフープ ・大縄	・我慢できない気持ちが 分かる・自分の我慢できない気 持ちが分かる・我慢できない気持ちを落 ちつける	・気持ちの名前を言う・がっかりした気持ち・怒りの扱い・待つこと	・季節を感じながら、作ることを楽しむ。(8)	☆運動会の壁面製作 ・秋の製作
		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
・予告なしの避難訓練でも、保育者の指示を聞いて落ち着いて避難できるようになる。(10)	・地震と火災の時の避難の仕方を覚え、状況に合わせて避難できるようになる。	・園外保育に行くことで、 公共の場でのルールを知 る。(12)	り、新たな発見を楽しむ。	・おたより帳のシールを、日にちの数字を確認しながら貼れるようになる。(9)・保育室内の玩具を決まった場所に自分で片付ける。(7)	・玩具の置き場所を自分で把握し、片付ける。また、友達と声をかけ合い協力することを知る。	・物語の中のスト―リー展 開を楽しむ。(9)	【え】11ぴきのねこ 【え】さつまのおいも 【え】14ひきのおつきみ 【え】しょうぼうじどうしゃじ ぷた	・はさみで曲線をなめらか に切れるようになる。(9)	・はさみ(細かく動かす)
〇子ども達それぞれがたか、活動や普段の様子:		〇グループ活動や当番 うな表の作成をし、見や					を味わえるようにする。	〇遊びのイメージに合う 自分達なりに考えて必要する。	
		☆元気に挨拶をしている 大切さをみんなで考えら		☆植物、生き物の世話(自ら進んで取り組めるよ		☆伝えたい気持ちを受りで自分の気持ちを伝えられる。 ☆様々な言葉での表現いを十分に発揮できるよ	ナ入れ、言葉を補うこと られるようにする。 を受け入れ、自分の思	、。。 ☆みんなと一緒に踊った かすことができるように 提案をしたりする。	
【9月】始業式・園外保育	育・避難訓練・プール納会	•誕生会		•		•		•	

年中(4歳児) Ⅳ期(11月・12月)

保育目標・親子クッキングなどを通して、自分で作った食べ物を食べる楽しさを味わう。また、食べ物の大切さを知る。

- ・異年齢児との活動を通して、年長児に憧れをもったり、年少児に優しく接したりすることで、一緒に過ごす楽しさや充実感を味わう。
- ・手洗い・うがいを励行し、戸外で元気に遊ぶ。

【12月】いきっここども劇場・避難訓練・誕生会・もちつき・終業式

・いきっここども劇場では、役になりきって演じる中で、自分のイメージを動きや言葉などでのびの びと表現する。 子どもの姿・気温の変化に応じて、衣服の調節ができるようになる。

・秋から冬への季節の変化を見つけ、遊びに取り入れるようになる。

健	康	人間	関係	環	境	言	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・手で水をすくってうがい ができるようになる。	・友達と協力して活動することの充実感を味わう。(8)		・園内の自然環境や散歩を通して、木々の色づきの変化など秋の自然に気付く。(3)		・自分の意見を進んで伝 える。(3)	・イメージを膨らませ、自 分なりに考えながら、自分 の意見や必要なものを伝 える。		・やきいもグーチーパー・山の音楽家・おもちゃのちゃちゃちっあわてんぼうのサンタロース・赤鼻のトナカイ
運動		他学年との関わり		飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・戸外でみんなと一緒に運動することを楽しむ。(3)		・年少児との交流を通して、様々な気持ちを知る。	・年少児との散歩を通して、お世話する難しさや喜びを感じる。	・チューリップやソラマメな	想像し、楽しんで世話をする。	・人の話を最後まで聞く大	・友達の意見を聞き、どん なことを伝えようとしている のか、その意味を汲み取 ろうとする。	みんなで心を合わせて演	・タンバリン ・鈴 ・カスタネット
給食·食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
しみながら食べる。(5) ・足を揃えて、正しい姿勢 で食べる。(7) ・よく噛んで味わって食べ	・給食の食材に目を向け、 興味をもつようになる。・自分が食べることのできる給食の量を把握し、調整して食べる。	・友だちを作り、仲良くする・気持ちを落ち着けて、問題解決ステップを使う		・鉄棒での前回り降りや、 大縄で連続して跳ぶなど、 新しいことに挑戦するよう になる。(8)		・友だちを作り、仲良くする・気持ちを落ち着けて、問題解決ステップを使う	・フェアな遊び方 ・ 友だちと一緒に楽しく遊ぶ ・ 遊びに誘う ・ 遊びに入る	・特別保育活動で使用するものを考え、楽しんで作る。(4)	・秋の自然物を使った作 ・いきっここども劇場追 作り ☆クリスマス製作
安全		地域との関わり		 室内環境				│ │製作道具▪材料	
・交通ルールを知り、ルー ルを守る大切さを知る。 (10)		・地域にどのような施設があるのか知る。(13)	・園周辺を散歩することで、身近な公共施設を知る。(消防署・店など)	・季節に応じたもの(ドング リ・クリスマスに関する物) などを使用して遊びを展 開するようになる。(6)		 ・絵本や童話を楽しみ、興味をもって聞く。(9) ・劇を通して、物語の登場人物を演じる楽しさを味わう。(8) 	【え】てぶくろ 【か】かさじぞう 【か】きたかぜとたいよう	・様々な材料に触れ、切ったり、貼ったり、塗ったりすることを楽しむ。(7)	
	を工夫し、きまりを守って遊	○クラスや学年の活動を行 味わえるようにする。	い、集団活動の楽しさが	 ○自然物を種類ごとに分け れるようにする。		○発言しやすい雰囲気を作 きるようにする。	Ⅰ 炸り、自分の意見を発言で	〇工夫したり試したりできる 進んで創作する場を設ける	
	け、楽しさを共有できる時	☆ルールのある遊びでは、 うことに気付ける声かけを しさを共有できるようにする	亍い、一緒に遊ぶ友達と楽	 ☆自然物を使った遊びを提	皇案し、身近な自然に触れ		:、互いに顔を見て話せるよ	☆リズムに合わせ、楽しん ができる曲を流す。	

28

年中(4歳児) V期(1月·2月·3月)

【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー

【3月】避難訓練·誕生会·卒園式·終業式

保育目標・スイセン・ヒヤシンスなどの生長や、氷・霜などの変化に気付き、冬ならではの自然に触れる。

・いきっこマラソンに向けて、最後まで諦めない気持ちをもちながら、毎日自分から進んで練習に

- ・年長児の遊びや活動に興味をもち、教えてもらったり、一緒に行ってみたりして、進級が近付い ていることを知る。
- ・1年を通してできるようになったことを振り返り、進級することを自覚する。
- ・それぞれの友達の良さを認め合いながら、いろいろな友達と元気に遊ぶ。

子どもの姿・集団での遊びやルールのある遊びに興味を持ち、取り組むようになる。 ・今まで経験してきたことが自信となり、進級への期待が高まる。

健	康	人間	関係	環	環境	 	葉	表	現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・自分の物の把握をし、 物の管理を進んでする。 (8)	・自分の物の管理を行い、把握しながら、大切 に扱う気持ちをもつ。	遊びを楽しんだり、積極	・遊びや活動を楽しく行うための方法を考え、問題解決をしようとする。				・感じたこと、考えたことを 相手に伝わる言葉にして 伝える。		・雪のペンキ屋さん ・コンコンクシャン ・まめまき ・ひなまつり ・よいこのうた(園歌) ・卒園のうた
		他学年との関わり		飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・寒さに負けず、戸外で 元気に遊ぶことで、体が 温まることを知る。(3)	ソン・ドッジボールなど、	・好きな遊びや保育活動 を通して、いろいろな友達 との関わりを広げる。(8)	・他学年の友達と関わることの楽しさを味わい、自	・育てている植物に興味		・会話を楽しみ、相手の 伝えたいことを理解しよう	・会話を通して、言葉のやり取りを楽しむ。	・様々な音に気付いたり、 いろいろな楽器の音色を 楽しむ。(1)	
 給食·食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・歯磨きをしっかりとし、 自分の歯を大切にしよう とする。(6) ・食事のマナーを見直し、 感謝の気持ちをもって給 食をいただく。(5)	・歯ブラシを細かく動かして隅々まで磨くよう心掛ける。 ・食器を持って食べる・箸で最後の一粒まで集めるなど食事のマナーを自分で意識して食べる。	・友だちを作り、仲良くする・気持ちを落ちつけて、問題解決ステップを使う	困ったことを話す	・友達と励まし合い、協力しながら、挑戦することの		友だちを作り、仲良くする	・困ったことを話す・何ができるか考える・自分の考えをはっきり話す	・一つひとつの作品を丁 寧に作る。(4)	
 安全		地域との関わり						製作道具•材料	
・周囲に気を付けて遊 ぶ。(10)	・体も大きくなり、走り回 ることも多くなるため、周 囲の友達に気を付けて遊 ぶ。	・身近な地域で過ごす楽 しさを味わう。(13)	・いきっこマラソンで定期 的に公園に通うことで、 身近な地域の良さに気付 いたり、親しみをもったり する。	・コーナーを作って遊ぶよ うになる。(8)	メージし、遊びごとのコーナーを設置して遊ぶようになる。 ・その時期ならではの遊	・物語を最後まで聞き、イメージを友達と共有す	【え】大きくなるということは 【え】はなをくんくん 【え】じごくのそうべえ 【え】のはらのひなまつり	・紙粘土など、様々な材料に触れる。また、形にすることを楽しむ。(5)	・紙粘土 ・絵の具(筆で塗る)
〇周囲の状況に気を付け けをしたり、遊びのスペーン びと遊べるようにする。		〇年長児の卒園の様子を ることで年長児に憧れの動	記持ちをもてるようにする。 -				で思い出を共有したり、	○使いたいもの、作りたい すことができるように、様, メージを広げられる本を用	々な素材を用意したり、イ
		☆他学年と一緒に過ごせい遊びなどの活動を取り。関わりを広げられるように ☆難しいことでも、友達とをできるようにし、友達のる。	くれ、他学年の友達とのする。 一緒だとできるという経験			☆日常の中に発表の場を ることの楽しさや自信を感		☆友達の面白い表現に気ように、保育者が紹介したいたことを発表する場を設	り、子ども達が見て気付

月案 年長(5歳児) I期(4月・5月)

保育目標・新しいクラスの友達と挨拶をし合ったり、名前を呼び合ったりして親しくなる。

・泣いたり困ったりしている年下の子に気付き、自ら優しく声をかけ、思いやりの気持ちをもって 接する。

・年下の子どもに遊具の遊び方やおもちゃの片付け方を優しく教えることができるようになる。

・花や虫などを発見し、自然の変化に気付きながらいろいろな友達と共有して遊ぶ。

子どもの姿・年長児になったことを喜び、張り切って活動する。また、遊びや生活を通して、気の合う友達を 見つけていく。

・年少児のお世話をすることで、年長としての意識が高まってくる。

健	康	人間	関係	日	環境	言	葉	表	₹現
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
・年長としての自覚をもって、基本的な生活習慣を 見直す。(8)	出し、年長としての自覚	・いろいろな遊びを通して、友達関係を広げる。 (1)	・新しいクラスの友達と挨拶をし合ったり、名前を呼び合ったりして親しくなる。	・花や虫などを発見し、自然の変化に気付く。(3)	・カラスノエンドウ ・シロツメクサ ・テントウムシ ・アゲハチョウ	・友達に自分の気持ちを 伝える。また、適切な言 葉を使う。(1)	・話し合いの機会を多くもち、互いに思いを伝え合う。	・曲の雰囲気や内容を意 識して歌う。(6)	・大きな古時計 ・うたえバンバン ・アブラハムの子 ・みどりのうた ・こいのぼり(みどりの ぜを〜) ・山のワルツ ・森のくまさん
運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
・戸外に出て元気いっぱ い遊ぶ。(3)	・年長児ならではの用具 (縄跳び)に興味をもち、 遊ぶ。		・身支度の手本を見せた り、手伝いをしようとした りする。	・飼育動物に親しみをも	・ウサギやカメの観察をして、触れ合う。	・保育者や友達の話を聞き、しっかりと理解する。 (4)		・曲の速さやリズムに合わせて動くことを楽しむ。 (6)	・かえるの体操
給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
・給食の流れを思い出し、楽しく給食をいただく。(5)		※状況に応じて、コース0		・好きな遊びの時間に、	・保育者に補助してもらいながら、逆上がりの練習に繰り返し取り組む。	※状況に応じて、コースO の振り返りをする。		・いろいろな素材に触れ ながら、表現することの おもしろさを知る。(4)	☆こどもの日製作(カラト) ☆お母さんの絵 ☆母の日プレゼント ☆お父さんの絵 ☆父の日プレゼント ☆妹
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料	
	害時の避難経路を確認 する。 ・壱岐南小学校への散歩	・園外保育に出た時や、 園内で会った人に自ら挨 拶をする。(13) ・交流保育を通して、あさ ひ幼稚園・おひさま保育 園について知り、友達を 作る。(6)	・散歩	・掃除の役割分担をし、 自ら責任をもって取り組 む。(11)	・年長としての係活動に 張り切って取り組む姿が 見られる。 ・ブルーシート敷き ・網戸拭き	・絵本や紙芝居の内容を 遊びに取り入れて遊ぶ。 (8)	【え】はじめまして【え】たんぽぽ【え】14ひきのピクニック【え】わたしのワンピース【え】きょうのおべんとうなんだろな【え】ゆうちゃんからだずかん	・絵の具の使い方を知 る。(5)	・個人持ち絵の具・マーブリング
遊びなどをクラス全員で楽	しめる時間をもつ。	〇年長になった喜びやクラ うな環境の工夫や雰囲気	作りをする。	○季節や自然の変化に触 きを敏感に受け止め、感 る。				○子ども達が歌いやすい 準備したり、子ども達が歌りする。	
☆新しい環境にすぐに順原一人ずつのペースを見極く 気作りをする。		○遊びや生活の状況に応付け方などについて、子と作る。 ☆自分達で安心して使えるの扱い方などを丁寧に伝え	もと一緒に考える機会を るように、新しい場や道具	の対処の仕方を伝えてい チ・スズメバチ・ムカデなる ☆玩具の片付けの必要性	く。(ケムシ・アシナガバ			○いろいろな素材に触れや廃材を準備しておく。☆曲の雰囲気や内容がな☆絵の具の色の混ぜ方な	見像できるように話をす
	家庭訪問•おわつ絵食•	ETT IL A							

【4月】始業式・入園式・家庭訪問・おやつ給食・誕生会

^{【5}月】運動能力測定・避難訓練・歓迎遠足・あさひ交流保育・創立記念日・誕生会・おひさま交流保育・歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)

年長(5歳児) Ⅱ期(6月・7月・8月)

保育目標・身近な人に進んで挨拶したり、積極的に関わったりすることを通して、自分の気持ちを言葉にして伝え

- る。
 ・梅雨ならではの自然の変化に気付いたり、天候に合わせて、遊びを考え工夫したりする。
 ・よいまつりでの歌や踊りを覚えて、楽しみながら練習に取り組む。また、当日は大勢の観客の前でも、恥 ずかしがらずに歌ったり、踊ったりする。
- ・体を動かして汗をかいた時は、自分で汗を拭いたり、水分補給したりする。また、自分で考えながら適度 に休憩を取れるようにする。

子どもの姿・自分の思ったことを発言したり、話し合ったりしながら、目的に向かって活動を進める姿が見ら れる。 ・周囲の自然物を遊びの中に取り入れていく。

[建康	人間	関係	買	境	1	葉	表現		
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)		
・夏の健康的な生活の仕方を知る。(6)	・自ら水分補給をする。 ・汗をかいたら、顔を洗っ たりタオルで拭いたりす る。	・友達と協力し合いなが		・園外に行く際、周りの景 色や物事に目を向けなが ら、行動できるようにな る。(6)		・気の合う友達との関わりの中で、自分の思いを表現する楽しさを味わう。	接続詞などを使うことが増える。長文で話せるようになる。		・すうじの歌 ・六月 ・みどりの風とあおし ・たなばたさま ・キャンプだホイ	
運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)		
・いろいろな運動に興味	 ・運動遊具を使う。	・バスコースや遊びの中	- - 園外保育	・梅雨期や夏の自然、生	・アサガオ栽培	・人の話を注意して聞く。	・保育者の話を聞いて、	・リズムに合わせて和太	•和太鼓	
を広げ、ルールを守って 元気に遊ぶ。(4) ・プール遊びの約束事を 守りながら、お互いに気 をつけて水遊びを楽し	(マット・平均台・巧技台・ 跳び箱) ・プール遊びで水に慣れ	で、他学年の友達と関わることを楽しむ。(5)	・バスコース・好きな遊び・並ぶ時、着替えの時などに年下の子どもに優し	き物、植物に触れ、その性質や特徴を知る。(2)	・ヒマワリの観察 ・カブトムシ・クワガタの 飼育	(4)	理解して行動できるようになる。	鼓を叩くことを楽しむ。(6)		
む。(10) 給食・食育		 セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作		
	 ・子ども同士がお互いに	※状況に応じて、コース0		・友達と一緒に鉄棒や跳	- ・友達がしているのを見	※状況に応じて、コース0)			
	食事のマナーや食べこぼしなどを注意し合ったりする。	の振り返りをする。			て、体の使い方を知り、 習得していく。	の振り返りをする。		習を通して、友達と力を 合わせて一つのものを作 り上げ、達成感を味わう。 (4)	☆よいまつり製作 ☆よいまつり掲示	
安全		地域との関わり		室内環境				製作道具・材料		
・正しい固定遊具などの 使い方を再確認する。 (10)		わり、自分から挨拶をす	・散歩などで、地域の方 に積極的に挨拶をする。		・歌詞や一日の流れなどの掲示物の文字や数字に関心をもつ。	・自分で考えた物語を絵 や文字に表して伝える楽 しさを知る。(10)	【え】パパ、おつきさまとって!	・クレヨンと絵の具の質の 違いを理解し、それぞれ の活動を楽しむ。(5) ・絵の具の配合の仕方を 知る。(1)	・絵の具(たたみ染&・色鉛筆	
〇全身を使って元気に	<u>.</u> 遊べるよう、天候・体力・	○友達と使うことで遊び	が広がっていくような素	○自然の変化の中で、・	⊥ 一緒に触れたり、感動し	〇新聞やテレビのニュ-	<u>-</u> 一スを話題にするなど、	〇友達と一緒に歌う楽し	↓ ∪さを伝え、自信が÷	
状態に応じて、いろいる	な遊具を提供していく。	材や道具を提示する。		たりして、さらに興味をも	もてるようにする。		の中で、子ども達が言葉	るようにする。		
○□羊」が砕/たって/	スので 旭マもかごった		J ここれらんそロロノーナンス トニ	 ○自分達の興味や疑問	またでひした!! 処徳して	のやりとりをする機会や		│ │○子どもの気付きに耳を傾け、周りにも		
り、日差しを避けて遊ん				生長を見守ったりできる			٥٧٥	る。	と傾け、向りにも伝	
る。	TO SO PADILLY	的が自覚できるようにす		触れ合う機会を多くもて		☆発語や話し方には、	個人差があることを忘れ			
 		 	りとし 一小半十つ エチ	 	᠔ᄑᄼᅺᄼᇝᄪᄼ		け入れながら、適切な話	☆友達の声や伴奏を意		
	、体探をしつかりしたり、 きるよう配慮する。また、	☆子どもがのびのびと5 に取り組めるように、安		☆生き物が育つために。 かける。→自分達で考え		し方を伝えていく。		話をしたり、その場で声	をかけたりする。	
体をしっかり拭いて着	替えるよう声をかける。	する。		する。(虫かご・虫とり網 サ・図鑑など)				☆和太鼓の叩き方、立つ位置などを伝えん		
☆用具を協力して片付けるよう声をかけ、集団 で行う。		☆子ども同士の関係を持分を出していけるよう、付気を作ったり、保育者がたりする。	可でも言い合える雰囲	☆生き物や植物の種類 環境が必要であることを 世話を通して親しみを息 を養えるようにする。						

32

年長(5歳児) Ⅲ期(9月・10月)

- 保育目標・園生活の中で、一人ひとりが自信をもって、様々な活動に取り組む。 ・運動会に向けて、それぞれの種目での全体の流れや自分の出番を把握し、友達と教え合ったり、自ら進
 - んで取り組んだりしながら、目標を達成できるようにする。

【10月】教育実習・運動会・運動能力測定・クラス懇談(親子でクッキング)・避難訓練・誕生会・おすもうさん来園

- ・運動会当日に向けて、自らやる気をもって練習に取り組み、達成感をもてるようにする。
- ・今までに培ってきた体の動かし方や使い方を、遊びの中や運動能力測定などで十分に発揮する。

子どもの姿・季節を感じたり、不思議に思うことを調べたりして、興味や関心を広げていく。

・目標に向かって挑戦したり、全身を使って運動遊びを楽しんだりしている。

力を合わせて最後までやり遂げようとする。

健	康	人間	関係	環	環境		葉	表現		
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	
 基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)		
・園生活の中で、一人一 人が自信をもって、様々 な活動に取り組む。(1)	•係活動	・クラスや園全体の共通 の課題が分かり、友達と	・クラスの活動や集団遊びなど、多人数での遊びやいろいろな遊びへの興味の広がりなどを通して、新たな友達とつながる。	・自然の変化(秋の空や	・散歩 ・キンモクセイ ・トンボ	お互いの考えやイメージ	・しりとり	・様々な音楽に触れ、イ メージを深めながら、自分 なりに表現する。(4)	・そらにらくがきかきたな ・虫の声 ・すうじの歌 ・はたけのポルカ ・うんどうかいのうた	
				飼育·栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)		
・いろいろな運動遊びに 力いっぱい取り組んだり、 自分なりの目的をもって 挑戦しようとしたりする。 (4)	・リレー ・縄跳び ・マット ・ドッジボール	・全学年合同でのチーム では、自分の役割を意識 して取り組み、みんなで行 う満足感や充実感を味わ う。(8)		・虫や草花を観察したり、 集めたりする。(4) ・収穫の喜びを味わったり、秋の自然の美しさや 不思議さ、変化に気付き、親しむ。(1)	・バッタ ・カマキリ ・スズムシ ・稲刈り	・保育者や友達の話の内容を理解し、言葉による表現を豊かにする。(8)	・保育者の話や合図を聞き分けて活動する。	・曲のイメージに合わせた 身体表現を楽しむ。(8)	・運動会のダンス	
 給食•食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作		
・正しい姿勢で座り、よく 噛んで最後まできれいに 食べる。(7)		※状況に応じて、コースO の振り返りをする。		・鉄棒や跳び箱では、 様々なレベルの技に挑戦 する。(8)	・友達のしている技や保 育者に教えてもらった技 に取り組む。	※状況に応じて、コースO の振り返りをする。		運動会で頑張ったこと・	・自分が経験したことを自由に絵に描くことをむ。	
ることを意識し、食後の歯	・歯についての絵本など を読み、生え変わりにつ いて関心をもつ。								・お泊まり保育の絵 ☆運動会の壁面製作 ・運動会の絵	
安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具•材料		
・遊具や用具の安全な使い方を知り、気をつけて使う。(10)		く経験をする。(2)	・友達と力を合わせて、交通ルールを守って安全に 歩き、生松台中央公園へ 散歩に行く。		・運動会の国旗掲揚を通して、国旗や国歌に興味をもつ。			・遊びに必要な素材を選び、創作意欲を高める。(7)	・廃材 ・自然物(落ち葉・小札 石)	
○活動に静と動のメリハリ	をつける。		の課題が分かり、取り組め					〇様々な曲を取り入れ、路 ようにする。	ることの楽しさを味わ	
☆一人ずつ目標をもって取り組み、その過程での努力を認め、励ましていく。☆熱中しすぎての危険な行動も見られるので、子どもの活動から目を離さない。その都度、気持ちをひきしめていけるよう声をかけていく。		るような環境設定をするとられるような場の工夫をす ☆遊び方や遊びのイメート 育者も仲間に入って遊び、 ☆繰り返したり試したり挑!	ジが理解できるように、保 調整や確認をする。 戦したりする姿を大切に		など、季節を感じられるも にコーナー作りをする。	できる話し合いの場を設け	感動を伝え合ったりするこ	│ - ○楽器や手具などを取り入れ、イメージしている		
【9月】始業式・避難訓総	±	☆繰り返したり試したり挑! し、変化や上達を具体的に めたり、励ましたりできるよ	こ示して、子ども同士で認							

33

年長(5歳児) Ⅳ期(11月・12月)

保育目標・いきっここども劇場で、やりたいことをイメージして話し合う。また、みんなで協力して、練習に意欲的に取

- ・他学年の子どもと交流する中で、思いやりの気持ちをもって接することができるようになる。 ・いきっここども劇場の練習に進んで取り組み、劇の流れや動き・台詞などを覚え、自信をもって臨む。
- ・人前で歌ったり、声を出したりして、自分らしくのびのびと表現する。

子どもの姿・年少・年中児と関わる中で、中心になって活動することを喜ぶようになる。

- ・トラブルを自分達なりに解決しようとする。
- 文字に興味をもち、読んだり書いたりしようとする。

	健	!康	人間	関係	環	景境		葉	表現		
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	
基	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)		
-		・手洗い・うがいを身に付 ける。	・友達と共通の目的に向かって、考えを出し合い力を合わせて遊びに取り組む。(4)	方やイメージの違いなど	気温や木々の変化に気付き、冬の訪れを感じる。(3)	・戸外の草木を見たり触れたりして自然の変化に気付く。・イチョウ・ドングリ(公園)	・いきっここども劇場についてどのような内容にするか友達と意見を出し合い、話し合う。(2)	・お互いのイメージを言葉に出し、受け止め合いながら内容を考える。・セリフなども自分達で考える。	・歌の歌詞の意味が分かるようになり、楽しく歌ったり、強弱を考えて歌ったり	・きのこ	
運	運動		他学年との関わり		飼育•栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)		
• ħ			・他学年の子どもとの交流の中で、年長としての自覚をもち、思いやりをもって行動する。(10)	・年下の子ども達が喜ぶ ことを自分で考えながら お世話をする。	・小動物の餌やりなど行 い飼育する。(5)	・カメ・メダカ・キンギョ	・他学年の子どもが出ている演目を見る時にも、観客として静かに落ち着いて見る。(1)	・保育者や友達の話を静かに聞いたり、理解できるようしたりして、いきっここども劇場の練習に参加する。	・友達とリズムや音を合わせながら、楽器遊びを楽	・鍵盤ハーモニカ ・縦笛 ・フィンガーシンバル ・ハンドベル	
· (4	すもう大会に参加する。	体を動かす楽しさを感じながら、練習に取り組む。									
``	·/ 合食	ながら、 株百円以り組合。	セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作		
•時	時間内に食べ終えること	・時間を意識して給食をいただく。	※状況に応じて、コースO の振り返りをする。		1	・継続して取り組むことで できるようになり、自信を もつ。			・今までの経験の中から 作るものを考え、新たな 発想に生かす。(8)	・いきっここども劇場追 作り ・秋の自然物を使った 作 ☆クリスマス製作	
	マ全	・小学校入学を意識して、	地域との関わり ・小学校見学を通して、学	・小学校を見学し、授業の	室内環境 ・室内での冬の遊びを見	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	物語 ・いきっここども劇場の内	[5]± \$\dagger \cdot \cdo	製作道具・材料 ・様々な色を使い、自分	・ペン	
で	園外に出た時は、自分 き考えて行動できるよう 意識する。(10)	い子校入子を思識して、しっかり歩いたり、動いたりできるようになる。		・小子校を見字し、授業の 様子などを見て、入学することに期待をもつ。	・室内での零の遊びを見つけ、楽しむ。(3)・絵本や散歩を通して、身近な標識に関心をもつ。 (10)	・役割分担されたごっこ遊び	できることも劇場の内容を決める時に、いろいるな話の内容を思い出して考える。(8)(9)	【え】うらしまたろう	が思うものを描けるようになる。(4)		
	 		│ ○継続して遊べるように る。	 、時間と場所を確保す		┃ をして、自然物を利用す ・ども自身で展開できるよ			にする。 〇曲に合わせて、楽器遊びができるように		
せも ☆え ☆	t、自信をもてるようにし って取り組めるようにす	ン、頑張ろうとする意欲を する。 に動けるよう、早めに伝	☆友達の良さを認め合えるような雰囲気作りや に伝 場の設定を行う。 ☆小学校への期待をもち、不安を取り除けるよ		〇図鑑などで一緒に調 関心に十分付き合う。	べてみるなど、子どもの る自然の様子に気付ける	達が想像力を膨らませる。 る。	居や絵本を見せ、子ども			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	マ手洗いやうがいがおる 己慮する。 11月】すもう大会・避難訓	るそかにならないように 練訓・誕生会・小学校見学 ・避難訓練・誕生会・もちつ	うに学校を見学する機会		よりに抜助する。						

年長(5歳児) V期(1月·2月·3月)

【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー

【3月】避難訓練・誕生会・卒園式

保育目標・できないことや苦手なことにも挑戦し、友達と一緒に練習に取り組みながら、できることを増やしていく。 (こま回し・けん玉・マラソンなど)

- ・寒さに負けず、体を動かして戸外で元気に遊ぶことで、心身共に強くなることを知る。 ・卒園に向けての活動に真剣に取り組んだり、遊ぶ時は思いきり遊んだりして、一日一日を大切に過ごす。 ・自分の決めた目標に向けて、頑張る気持ちをもち、マラソンに意欲をもって取り組む。また、当日は自分の もっている力を出し、最後まで走り切る。
- ・友達との時間を大切にして、幼稚園生活の残りの日々を思いきり楽しむ。
- ・「強い子、やさしい子、考える子」になったことに、自信をもって卒園する。

子どもの姿・園生活をやり通した満足感を味わい、着実に歩んでいる手応えを感じる。

・新年を迎えたり、もうすぐ一年生になることが分かってきたりすることから、大きくなったことを感 じ、自ら進んで遊びや係活動に取り組む姿が見られる。

・遊びの中で友達と話し合ったり、計画を立てたり、ルールを決めたりするようになる。

	康	人間	 関係			言	 ·葉	表現		
ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	
基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)		
んでいる手応えを感じる。	・基本的な生活習慣の見 直しをして、着実にできる 自信をもつことができるよ うになる。	がりを深める。(5) ・小学校入学へ期待をも ち、成長を感じる。(2)	深める。 ・お別れパーティーや卒園 式の練習を通して、卒園	思議さを感じたり、自然の 事象を取り入れて遊んだ りする。(1)	を伝え合う。 ・スイセン	 ・考えたことを筋道を立てて、人に分かるように話す。(2) ・自信をもって人前で話し、伝える喜びや伝える心地よさを味わう。(7) 		・気持ちを込めて優しい声 で歌を歌う。(3) ・友達と一緒に恥ずかし がらずに歌うことができ る。(8)	・カレンダーマーチ ・思い出のアルバム ・ドキドキドン!1年生 ・よいこのうた(園歌) ・1年生になったら ・卒園のうた	
運動		他学年との関わり	., _ ,	飼育•栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)		
動かし、いろいろな運動遊びに取り組む。(3) ・運動遊びを楽しく充実さ		なるように、園生活に見通しをもち、進んで遊びや行	保育)やお別れパーティー		・カメ・・ウサギ	・人の話を注意深く聞き、 理解しようとする。(4) ・卒園式の練習にしっかり 参加できるようになる。(8)		・自信をもち、のびのびと 表現することを楽しむ。 (8)		
 給食・食育		 セカンドステップ		固定遊具		 セカンドステップ				
・食べ物の働きと体の関係に興味をもつ。(5)		・プログラムのスキルや概念を復習する ・スキルを園(学校)で役立	バスに乗る	・鉄棒などのいろいろな技 に挑戦してできるようにな		・プログラムのスキルや概念を復習する ・スキルを園(学校)で役立	バスに乗る	・思い出などを絵に表すことを楽しむ。(8) ・卒園に向けての製作を 丁寧にする。(3)	☆たこ ☆節分製作 ☆思い出バック ☆ひな祭り製作 ☆自分の顔 ☆在園児へのプレゼン	
		地域との関わり		室内環境				┃ 製作道具・材料		
・交通安全教室に参加し、 交通ルールを知る。(10)		・園外に行った時は、地域 の方に挨拶したり、道路 の歩き方を自分で考えて 歩いたりする。(2)(13)	うになる。	・遊びや日常生活の中で、必要な数量、図形や文字、簡単な標識などに関心をもつ。(10)・お正月遊びを楽しむ。(6)	・平仮名 ・片仮名 ・時計 ・交通標識 ・こま ・かるた	・相手に伝わる話し方が できるようになる。(7)	【え】北風のおくりもの 【え】スーホーの白い馬 【え】泣いた赤鬼 【え】ミッケ!がっこう 【え】はるがくるまで 【え】ゆきってなあに	・目的に合わせて、みんな で協力し合い、作る楽しさ を味わう。(7)	・好きな遊びの時間の作では、友達と作り方え合いながら作り、そ使って遊ぶ。	
○できるだけ外に出て、全身を使う遊びを取り入れる。 ○残り少ない園生活の中で、子ども達自身が充実した遊びができるようにする。 ☆厚着した時は、自分で衣服の調節をするよう声をかける。		○一人一人が自信をもた を合わせ、互いを認め合り、成長を喜び合えるよう ☆小学校入学を意識し、 引き継ぐような場面を作 ☆園生活を思いきり楽し 感をもち、小学校就学に	えるような雰囲気を作うにする。 係活動などを年中児にる。 むことで充実感や満足	うに声をかけ、子ども自 るようにする。	身が春の訪れに気付け		するようになる。 ができるように、援助す	〇時間をかけて、じっくられたり、みんなで1つの。 味わえるように配慮する ☆子どもが表現している ながら自信を付け、自分 にする。	ものを作りあげる喜び。 。 ことについての話を	
【1月】始業式·交通安全教	· 安。 周 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									

令和2年度 保育実践一覧

					年少					年中					年長		
領域			I期	Ⅱ期	田期 エ	IV期	V期	I期	Ⅱ期	皿期	IV期	V期	I期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	V期
	給食	箸			箸移行期間 (3点セッ ト持参)	箸を使い始め			•	正しい箸の持							
		配膳 (当番活動)	誕生児のみ 当番	当番が一人一	・人に配る(お)	ぼん・おかず))	当番が一人- (汁物)	-人に配る	配膳台に自分	で取りにいく	当番がつぎ 分ける(副 菜のみ)	当番がつぎ分 (すべて)	}ける	量を考えてつ きれいに、丁		る
健		歯磨き	うがいのみ	歯ブラシでの	歯磨き												
康		食育		収穫した夏 野菜を食べ る			キャベツを 使ったクッ キング	ソラマメを 食べる	あんず・う め ジュース ジャム			大根を使っ たクッキン グ			米の脱穀・ もみすり 米を持ち帰 る		
	親子 ⁻	でクッキング		ごはんを炊 く					, , , ,		育てたサツ マイモを使 う				み そ 汁 を 作 る (包丁)		
	着替え	,				15分で済ませ	±る				10分で済ませ	<i>-</i> る				5分で済ませ	3
	セカン	ドステップ		.,,				ゼロ 第11	Ⅰ週~第25週				ゼロ 第26週~28週 復習				
人間関	グルー		保育者が決める	(くじ引き・テーマをみんなで決めてグループ名を決める)					決める (くじ引き、あみだくじなど・テーマをみんなで決め てグループ名を決める)						をする ど・テーマをみ 話し合いをして		
係	縦割り	保育		ミックスジュース お別れパー ティーに向 年中児と散歩 けての活動			年長児と散 歩					年少児のお 世話(園内 散歩)	ミックスジ <i>=</i> 年中児と散步			お別れパー ティーに向 けての活動	
環	掃除			ゴミ拾い 雑巾がけ (音楽に合わせて・競争)					グループごとに掃除 ※雑巾絞りを取り入れる (テーブルクロス干し・床拭き・ほうき・椅子拭き・おもちゃ片付け・靴箱掃除・すのこなど) ☆毎週水曜日13:40~、戸外玩具洗い(6月~)					グループごとに掃除 ※園全体も含む ※雑巾絞りも継続的に取り組む (バスのブルーシート敷き、年少掃除手伝いなど) ☆毎週水曜日13:40~、戸外玩具洗い(5月まで)			
境	育てる	野菜		トマト キュウリ		ソラマメ	\rightarrow \rightarrow	ソラマメ収積	雙 サツマイモ	大根				米作り			
		花		アサガオ					ヒマワリ		チューリップ					ヒヤシンス クロッカス ((水栽培) 地植え・玄関前)
		:育活動に向 :話し合い				保育者の話を 自分のしたい	E聞く Nことを伝える		すして、自分の	意見を発表する			他の人の意見を聞きながら、完成をイメージして話し合う				îò
	歌(音	·域)	下ド〜上ド					下ド〜上レ					下ド~上ミ				
表 現	朝の歌	・帰りの歌	朝の歌・帰り	の歌・帰りの歌→													
	楽器		タンバリン 鈴				タンバリン・鈴・カスタネット 打楽器					和太鼓 楽器(よいまつり)					
その他	就学に	向けて											マークシー ルなし 和式トイレ の使い方を 知る		鉛筆遊び 小学校見学		椅子に座って 話を聞く ハンカチ持ち キッズデイ

令和2年度 保育実践一覧(運動)

	MATIZ M	117477	兄\廷剃/	年少					年中					年長		
領域		I期	Ⅱ期	田期	IV期	V期	I期	Ⅱ期	田期	IV期	V期	I期	Ⅱ期	Ⅲ期	IV期	V期
	走る		園庭から走って 保育室へ戻る			マラソン (公園 1 周)		- W	かけっこ (1 周)		マラソン (公園1.5周)			かけっこ (1.5周) 全員リレー		マラソン (公園3周)
	跳ぶ		両足跳び (連続)	ハイタッチ 片足跳び(連 続)	リズムジャンフ	Ĵ	グーパージャンプ		ケンケンパ		跳び箱導入	スキップ	跳び箱(縦かれ	黄・3段か4段)	※年長すもう大会で跳び箱披露	
E	鉄棒		ぶら下	がる。ぶたの)まるやき	とびのる導入 つばめ	足抜き 尻上がり	前回り降り			逆上がり導入		なった子から連	直続逆上がり)	個別確認	
屋 外	縄跳び				大縄(跳び超え	る・へび)	大縄(ゆうびん	大縄(ゆうびんやさん10回)					回)		単縄(前跳び20~30回)	
	固定遊具 (鉄棒除く)	ジャングルジム 太鼓権 ブランコ すべり台			\$ 1				うんてい						登り棒 個別確認	
	集団遊び			かくれんぼ					へびじゃんけん	,	ドッジボール	ドッジボール			サッカー	
	おにごっこ	しっぽとり			おにごっこ (保育者が追い	いかける)	ケイドロ こおりおに た			たすけおに	十字おに		缶けり			
	運動遊び		四つん這いだるまさん	高這い くるりんぱ だるまさん (ヹ ち上がる)	横転	前転導入	前転		前転(立ち上か	(S)	かえるジャンプ		ブリッチ 集団演技			
室内	室内遊具		ウェーブバラン	<i>,</i> ,,	トランポリン	,	平均台	平均台				跳び箱	,			
F 3	すもう		すもう① (保育者と対 戦)(クラスこ と)	すもう② ※おすもうさん ※ 来園 (赤白列車ごと 各クラス2回 戦)		すもう④	すもう⑤	すもう⑥	すもう⑦ ※おすもうさん 来園 (赤白列車、男 女ごと 各クラ ス4回戦)	1	すもう⑨	すもう⑩ (四股踏み)	すもう① (四股踏み)	すも⑫ (四股踏み) ※おすもうさ、 来園 (グループご。 各クラス8回 戦)	ん(四股踏み)	会 (四股踏み)
	運動能力測定	見学		運動能力測定(D		運動能力測定②	2	運動能力測定③			運動能力測定④		運動能力測定(5	

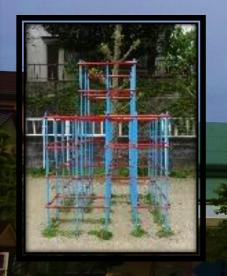
令和2年度 保育実践一覧(製作)

☆3学年共通もしくは必ず行うもの

		1	[期	П	[期	π	I期	π	7期	-	V期	
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	製作内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	☆ 父の日プレゼン ト(写真入れ・紙	☆保護者参観製作 (逆立ちこま・う	☆よいまつり掲示	タ月 ☆運動会の壁面製 作	・折り紙 「どんぐり」	・折り紙 「みのむし」	↑ ∠ 万 ☆ クリスマス製作 (いきっここども	↑ たこ	2万 ☆ひな祭り製作 (千代紙)	・思い出の絵(クレ ヨン)
	※記名マークシールのみ※ラベル1 学期は保育者が	、 レヨン) ☆母の日プレゼン ト(紙粘土のマグ ネット・絵の具指	- ペラスパット	たわ) ☆よいまつり製作 おめん おたのしみ (油性ペン)	・折り紙「さか な」	・折り紙「いぬ」 ※作品ラベル貼り スタート	・静物画 (見て描く)	,	劇場掲示)	・冬製作 ☆節分製作 福の神のお面 (クレヨン)	☆思い出製作 (紙粘土・絵の具花 瓶)	
年 少	貼る	スタンプ)	・折り紙「しずく」	☆七夕製作 短冊 ☆スライム		(作品名・日に ち)				☆思い出バック (油性ペン・の り)	☆卒園児プレゼン ト	
	製作道具 クレヨン	線描き・ぬりえ	顔(目・鼻・口)	· ·ゴムシくらい・5~	10枚ほど	ラベル貼り(7cn	n角くらい)・紙の周	りにのりをつける				
	はさみ		とで言う 重・ブラ	1回切り	107/186) */VAL) (/ C II		連続直線切り				
	絵の具	指スタンプ・にじ <i>み</i>	u 給	1 1 1 9 1 9				(生物 巨 (デカルコマニー		紙粘土に絵の具を混	++;;;; よ、
		日スメンフ・にしか		1		3~4回折り			7 77 7 7 -	ざぶとん折り	千代紙	
	折り紙	☆こどもの日製作	三角・四角1回折り ☆お父さんの絵		☆よいまつり掲示	・折り紙「うさ	・紙版画	・いきっここども	☆クリスマス製作	☆たこ	☆ひな祭り製作	 ・思い出の絵(クレ
	製作内容 ※記名	(こいのぼり・の り・はさみ)	(クレヨン・裏に メッセージ)	(竹の水てっぽ う)	・折り紙「ぼう し」	ぎ」 ☆運動会の壁面製	・運動会の絵	劇場道具作り	(いきっここども 劇場掲示・折り紙 「クリスマスツ	· 冬製作	(千代紙)・えのぐ練習	ヨン)
	マークシールのみ	☆お母さんの絵 (クレヨン・裏に メッセージ)	☆梅雨製作 (はじき絵・たた み染め) ・折り紙「こび	おめん おたのしみ (油性ペン) ☆七夕製作	01	作・自分の顔(クレヨン)	・折り紙「どんぐ り」		Ŋ - 」)	☆節分製作 鬼のお面 (クレヨン・はさ み・のり)	☆思い出製作 (紙粘土・絵の具・ ペン立て)	
年 中			と」 ・折り紙「かえる とあじさい」	短冊 ☆スライム ・折り紙「きん ぎょ」						☆思い出バック (油性ペン・の り)	☆卒園式メダル	
	製作道具 クレヨン	顔を塗りこむ					•	スクラッチ	•		•	•
	のり											
	はさみ	うろこ切り (帯状の	D紙を斜めに切る)	大きな〇				色々な形を切る・ち	小さな○やパーツを切る(尺・扇など)			
	絵の具		はじき絵・たたみ刻	t [®] め				ダンボールなどを終	筆で塗る① 筆で塗る②			
	折り紙			輪飾り	開いて折る						蛇腹折り・千代紙・	「卒園式メダル」
	製作内容 ※記名 表に平仮名で記名	☆こどもの日製作 (のり・はさみ・ 折り紙「かぶ と」)	☆お父さんの絵 (クレヨン・絵の 具で混色で背景を 塗る・裏にメッ セージ)	(壁掛け・釘うちなど・灯ろう作り)☆よいまつり製作	☆灯ろう (よいまつりで飾 る・おとまり保育 で灯し、持ち帰	・おとまり保育の 絵 ☆運動会の壁面製 作	・運動会の絵 ・スケッチ(木や 遊具などを見なが ら描く・絵の具)	・いきっここども 劇場道具作り	☆クリスマス製作 (いきっここども 劇場掲示) ※卒園記念茶わん	討) ・冬製作 ☆節分製作 福の神か鬼のお面	☆ひな祭り製作 (<u>幼稚園の集大成</u>・ 千代紙)※卒園式掲示用	☆思い出の絵(はさ み・のり・クレヨ ン)
年		☆お母さんの絵 (クレヨン・絵の 具で単色で背景を 塗る・裏にメッ セージ)	☆梅雨製作 (たたみ染め)	・おめん ・おたのしみ (油性ペン)	る) ☆みこし作り (大人数で1つのも のを作る)	・折り紙「こすも す」	・折り紙「かき」 ※アルバムの表紙			(クレヨン・はさ み・のり) ※卒園式プログラ ム用「自分の顔」 ☆思い出バック	「自分の顔」(はさ み・のり) ☆在園児プレゼン	
長				短冊 ☆スライム	・折り紙 「あさがお」					(油性ペン・の り)		
	製作道具 クレヨン	顔を塗りこむ										
	のり											
	はさみ	色々な素材を切る	折り目を切る				切り紙(3回以上折り	•複雑に切る)		自分で描いた形を切	る・ビニールを切る	
	※個人持ち絵の具	単色で塗る(はじ 混色で塗る たたみ染め き絵) 色々な素材を塗る										
	折り紙	かぶと(大きい紙)			細かく折る	こま(3枚で作る)					千代紙・「ダリア」	
【年』	りねらい】製作時間:20分	、 けさみ・直線連絡	続切り のり・10cm	角の国りにのりを	つけられる 折り紙	・ ざ ぶとん 折り						

【年少ねらい】製作時間:20分 はさみ:直線連続切り のり:10cm角の周りにのりをつけられる 折り紙:ざぶとん折り

【年中ねらい】製作時間:30分 はさみ:小さな〇やパーツが切れる・刃の根元や刃先で切れる のり:はがれないようにしっかりと貼れる 折り紙:「卒園式メダル」 【年長ねらい】製作時間:45分 はさみ:色々な大きさや形のものを切れる 絵の具:筆を使ってイメージした色で塗ったり描いたりできる 折り紙:「ダリア」



えんていでのあそびかた

じゃんぐるじむ ながぐつ⇒× いちばんうえにたつ⇒×





すべりだい ぎゃくからのぼる⇒× てすりにのぼる⇒× ぼーるをころがす⇒× ものをもってのぼる⇒×



ブランコ よここぎ \rightarrow X ふたりのり \rightarrow X なかにはいる \rightarrow X うしろからおす \rightarrow X さくでてつぼうをする \rightarrow X



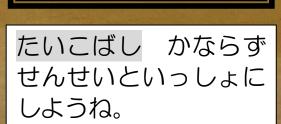
てつぼう かならずせんせいと いっしょにしようね。 たいやを ふみだいにする⇒O



すくーたー つかいおわったら 2りんしゃは、こーんばーに かけてね。



きのぼり かならず せんせいといっしょに しようね。





《うしろ》



《まえ》

おやま うしろがわからのぼるよ。 まえからおりてね。

そり・すくーたーでのぼる⇒×

おわりに

今回、幼稚園教育要領の改定に伴い、壱岐幼稚園の教育課程も改定を行いました。

この改定においては、副主任を中心とし、教職員で何度も話し合いを行いました。まずは、本園の教育(保育)の基盤として掲げている幼児像「強い子・やさしい子・考える子」を、教職員がどのように考えているのか・捉えているのかを出し合うことから始めました。1年目の常勤講師や10年以上勤務している教諭もいますが、それぞれが思う「強い子・やさしい子・考える子」は、言葉での表現の仕方は違っていても、同じ意見ばかりでした。全教職員の、昔から変わらない『いきっこ』への思いや願い、そして愛情が「壱岐幼稚園の目指す子ども」には込められています。この1ページをご覧になるだけで、壱岐幼稚園ではどのような子ども達が育まれているのか、教職員がどのような気持ちをもって保育を行っているのかを、ご理解いただけると思います。

また、この改定においては、現在の子ども達の姿を重視したものとなっております。現状をきちんと把握し、そこに新しい幼稚園教育要領を重ね、幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿になることを意識して作成しています。その中では、現状と理想とに大きなギャップがあることに気付き、悩み、どのような保育が良いのかをみんなで考える時間もありました。それらすべてが、子ども達のことを一番に考えた教育課程につながりました。子ども達が元気に楽しく幼稚園に通い、「強い子・やさしい子・考える子」を遊びの中から、友達関係の中から、そして自然の中から育めるようにしました。壱岐幼稚園の子ども達にとって、最善のカリキュラムになったと考えています。個人差があるため、中にはねらいの通りにならない子どももいますが、そこは全教職員で援助・支援する体制を整えていきたいと思います。

最後になりますが、全体での話し合いや各学年での話し合い、記述、確認、訂正を繰り返し行い、この【中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育】が完成しました。教職員が保育の計画・見直しを行う際に、すぐに手に取り、誰が見ても分かりやすいことも考えて作成しました。今後、本園の保育者になる方々にもすぐに参考にしてもらえると思います。また、教職員同士が子ども達や保育のことについて共通理解をする場でも役に立ちます。【中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育】をどのように活かし、発展させ、次のカリキュラムにつなげていくのかが今後の課題となりますが、全教職員で力を合わせて向上していきたいと考えております。

平成 30 年 9 月